

令和5年度

# 全国学力・学習状況調査結果の概要

令和5年8月

高知県教育委員会

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

### (2) 実施日 令和5年4月18日（火）

英語「話すこと」調査：令和5年4月18日（火）～5月26日（金）

### (3) 調査内容

- ◇ 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象
- ◇ 教科に関する調査は、国語、算数・数学、英語（中学校のみ）を出題

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

- ◇ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を実施

### (4) 県内（公立学校）の参加状況

- ◇ 参加学校数

#### 小学校

市町村（学校組合）立小学校	義務教育学校	特別支援学校（小学部）	合計
178校	4校	2校	184校

#### 中学校

市町村（学校組合）立中学校、 県立中学校	義務教育学校	特別支援学校（中学部）	合計
92校	4校	2校	98校

#### <参加校数>

・小中学校	270校
・義務教育学校	4校
・特別支援学校	3校
計	277校

※義務教育学校は、小・中学校の義務教育を9年間の一貫したカリキュラムで運営する学校であり、小・中ともに実施する学校が4校であるため、合計が4校となっている。

※特別支援学校は、1校の中に小学部や中学部があり、小学部・中学部ともに実施する学校が1校、小学部のみ実施する学校及び中学部のみ実施する学校が各1校であるため、合計が3校となっている。

- ◇ 小学校解答（回答）児童数

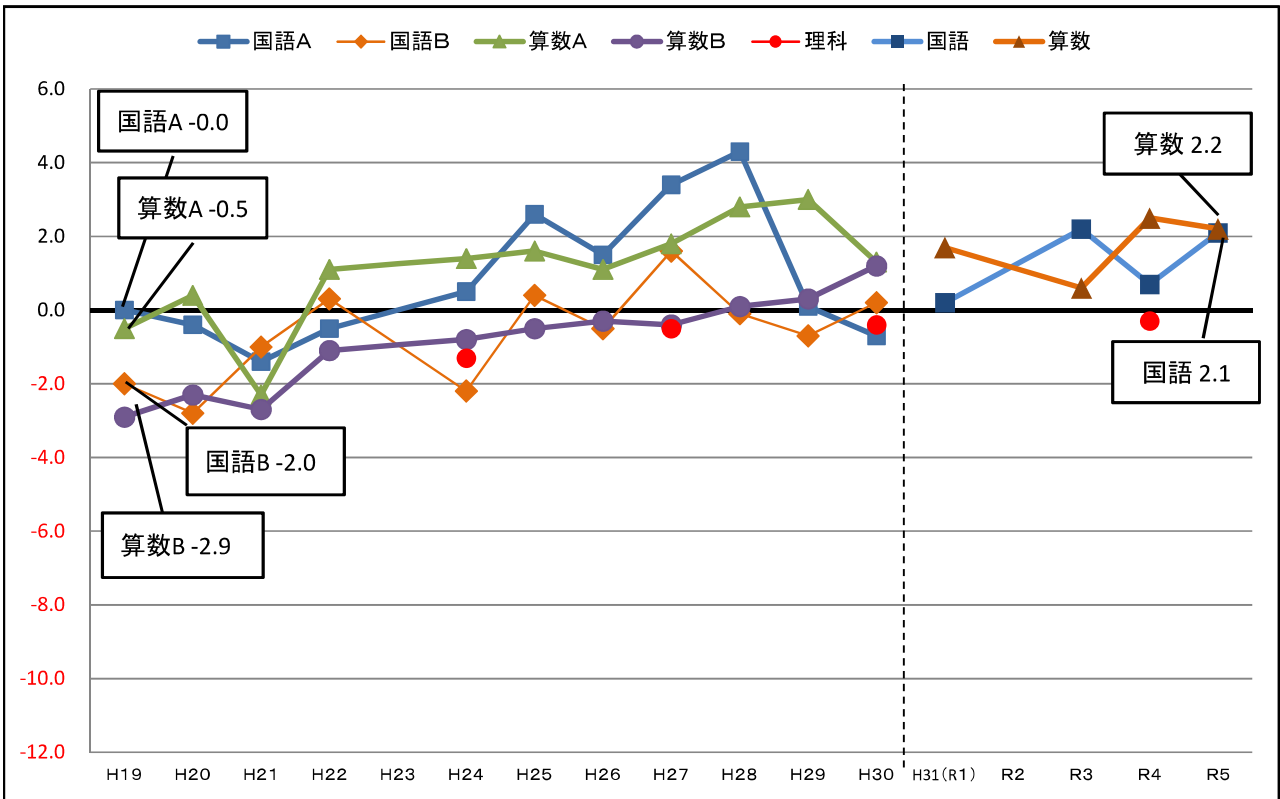
国語	4,690名
算数	4,687名
児童質問紙	4,805名

- ◇ 中学校解答（回答）生徒数

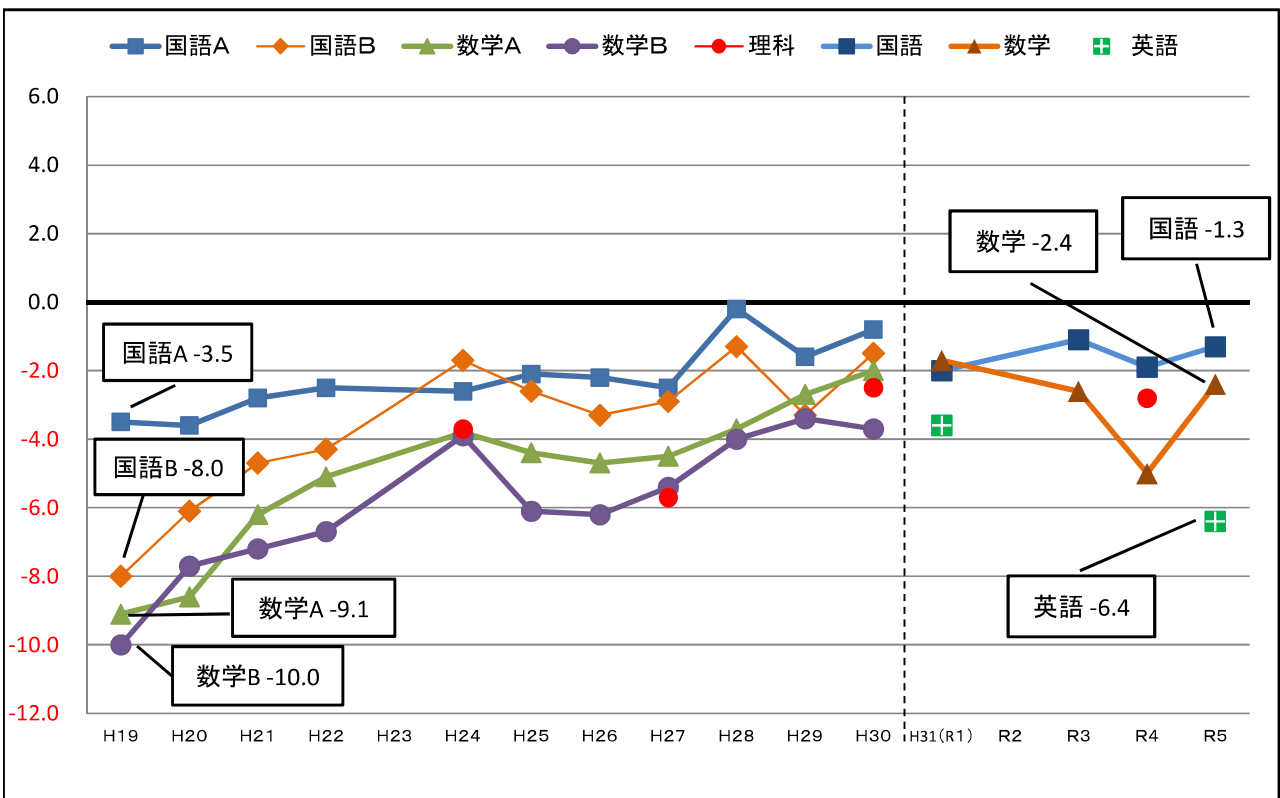
国語	3,966名
数学	3,967名
英語	3,967名
生徒質問紙	4,003名

平成19年～令和5年度 全国平均正答率との差(高知県平均正答率)

小学校調査



中学校調査



※縦軸は全国平均正答率との差をポイントで示している。(平成23年度の全国値はない。)  
 ※平成31年度(令和元年度)よりABが統合。  
 ※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止している。

## 教科別平均正答率【小学校】

小学校(国語・算数)						
	国語平均正答率(%)		高知県と全国の差	算数平均正答率(%)		高知県と全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
<b>令和5年度</b>	<b>69.3</b>	<b>67.2</b>	<b>2.1</b>	<b>64.7</b>	<b>62.5</b>	<b>2.2</b>
令和4年度	66.3	65.6	0.7	65.7	63.2	2.5
令和3年度	66.9	64.7	2.2	70.8	70.2	0.6
平成31(令和元)年度	64.0	63.8	0.2	68.3	66.6	1.7

	国語平均正答率(%)		高知県と全国の差	算数平均正答率(%)		高知県と全国の差	
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)		
A	平成30年度	70.0	70.7	-0.7	64.8	63.5	1.3
	平成29年度	74.9	74.8	0.1	81.6	78.6	3.0
	平成28年度	77.2	72.9	4.3	80.4	77.6	2.8
	平成27年度	73.4	70.0	3.4	77.0	75.2	1.8
	平成26年度	74.4	72.9	1.5	79.2	78.1	1.1
	平成25年度	65.3	62.7	2.6	78.8	77.2	1.6
	平成24年度	82.1 (81.5~82.7)	81.6 (81.4~81.7)	0.5	74.7 (73.9~75.6)	73.3 (73.1~73.5)	1.4
	平成23年度	81.0			82.3		
	平成22年度	82.8 (82.2~83.5)	83.3 (83.2~83.5)	-0.5	75.3 (74.3~76.3)	74.2 (74.0~74.4)	1.1
	平成21年度	68.5	69.9	-1.4	76.4	78.7	-2.3
	平成20年度	65.0	65.4	-0.4	72.6	72.2	0.4
平成19年度	81.7	81.7	0.0	81.6	82.1	-0.5	
B	平成30年度	54.9	54.7	0.2	52.7	51.5	1.2
	平成29年度	56.8	57.5	-0.7	46.2	45.9	0.3
	平成28年度	57.7	57.8	-0.1	47.3	47.2	0.1
	平成27年度	67.0	65.4	1.6	44.6	45.0	-0.4
	平成26年度	55.0	55.5	-0.5	57.9	58.2	-0.3
	平成25年度	49.8	49.4	0.4	57.9	58.4	-0.5
	平成24年度	53.4 (52.4~54.3)	55.6 (55.4~55.8)	-2.2	58.1 (57.1~59.1)	58.9 (58.7~59.1)	-0.8
	平成23年度	44.3			46.2		
	平成22年度	78.1 (77.2~79.0)	77.8 (77.7~78.0)	0.3	48.2 (47.2~49.2)	49.3 (49.1~49.5)	-1.1
	平成21年度	49.5	50.5	-1.0	52.1	54.8	-2.7
	平成20年度	47.7	50.5	-2.8	49.3	51.6	-2.3
平成19年度	60.0	62.0	-2.0	60.7	63.6	-2.9	

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

( )の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

※平成31年度よりAB統合

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止している。

## 教科別平均正答率【中学校】

中学校(国語・数学)						
	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	数学平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)	
<b>令和5年度</b>	<b>68.5</b>	<b>69.8</b>	<b>-1.3</b>	<b>48.6</b>	<b>51.0</b>	<b>-2.4</b>
令和4年度	67.1	69.0	-1.9	46.4	51.4	-5.0
令和3年度	63.5	64.6	-1.1	54.6	57.2	-2.6
平成31(令和元)年度	70.8	72.8	-2.0	58.1	59.8	-1.7

	国語平均正答率(%)		高知県と 全国の差	数学平均正答率(%)		高知県と 全国の差	
	高知県(公立)	全国(公立)		高知県(公立)	全国(公立)		
A	平成30年度	75.3	76.1	-0.8	64.1	66.1	-2.0
	平成29年度	75.8	77.4	-1.6	61.9	64.6	-2.7
	平成28年度	75.4	75.6	-0.2	58.5	62.2	-3.7
	平成27年度	73.3	75.8	-2.5	59.9	64.4	-4.5
	平成26年度	77.2	79.4	-2.2	62.7	67.4	-4.7
	平成25年度	74.3	76.4	-2.1	59.3	63.7	-4.4
	平成24年度	72.5 (71.8~73.1)	75.1 (75.0~75.2)	-2.6	58.3 (57.4~59.2)	62.1 (62.0~62.3)	-3.8
	平成23年度	78.5			54.3		
	平成22年度	72.6 (72.0~73.3)	75.1 (75.0~75.2)	-2.5	59.5 (58.3~60.7)	64.6 (64.4~64.8)	-5.1
	平成21年度	74.2	77.0	-2.8	56.5	62.7	-6.2
	平成20年度	70.0	73.6	-3.6	54.5	63.1	-8.6
平成19年度	78.1	81.6	-3.5	62.8	71.9	-9.1	
B	平成30年度	59.7	61.2	-1.5	43.2	46.9	-3.7
	平成29年度	68.9	72.2	-3.3	44.7	48.1	-3.4
	平成28年度	65.2	66.5	-1.3	40.1	44.1	-4.0
	平成27年度	62.9	65.8	-2.9	36.2	41.6	-5.4
	平成26年度	47.7	51.0	-3.3	53.6	59.8	-6.2
	平成25年度	64.8	67.4	-2.6	35.4	41.5	-6.1
	平成24年度	61.6 (60.9~62.3)	63.3 (63.2~63.4)	-1.7	45.4 (44.3~46.6)	49.3 (49.2~49.5)	-3.9
	平成23年度	61.0			45.2		
	平成22年度	61.0 (60.0~62.1)	65.3 (65.1~65.5)	-4.3	36.6 (35.4~37.9)	43.3 (43.1~43.5)	-6.7
	平成21年度	69.8	74.5	-4.7	49.7	56.9	-7.2
	平成20年度	54.7	60.8	-6.1	41.5	49.2	-7.7
平成19年度	64.0	72.0	-8.0	50.6	60.6	-10.0	

中学校(英語)			
	英語平均正答率(%)		高知県と 全国の差
	高知県(公立)	全国(公立)	
<b>令和5年度</b>	<b>39.2</b>	<b>45.6</b>	<b>-6.4</b>
令和元年度	52.4	56.0	-3.6

※平成22・24年度は抽出調査のため、平均正答率の推計値で示している。

( )の数値は平均正答率の95%信頼区間を示している。

※平成23年度は全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査の結果を示している。

※平成31年度よりAB統合

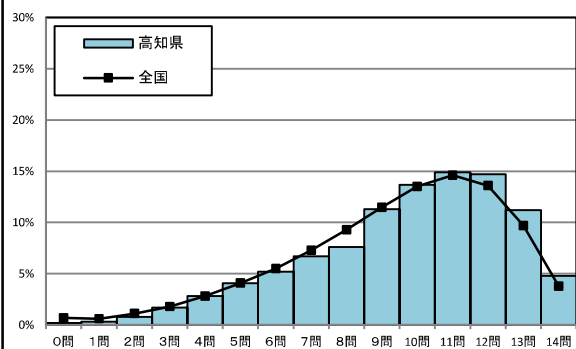
※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止している。

# 各教科に関する学力の状況

## 〔小学校国語〕

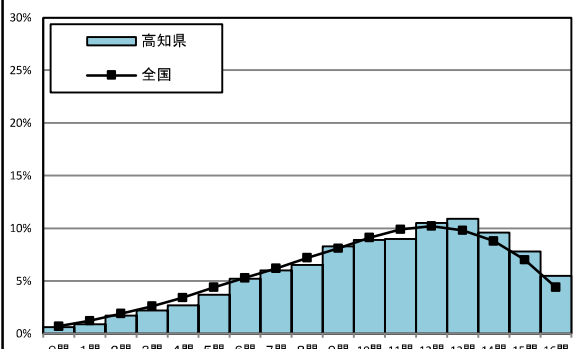
### 正答数分布の状況

国語	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	4,690	9.7	69.3	10.0	2.8
全国	964,177	9.4	67.2	10.0	2.9

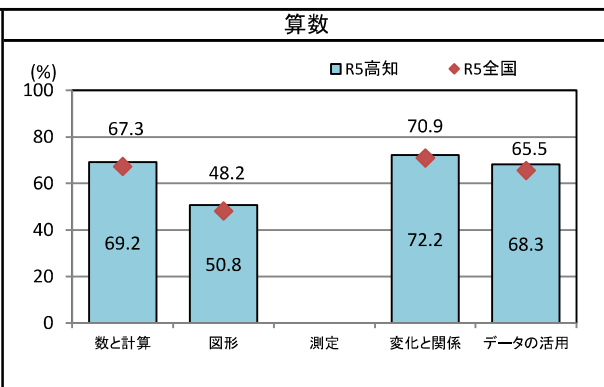
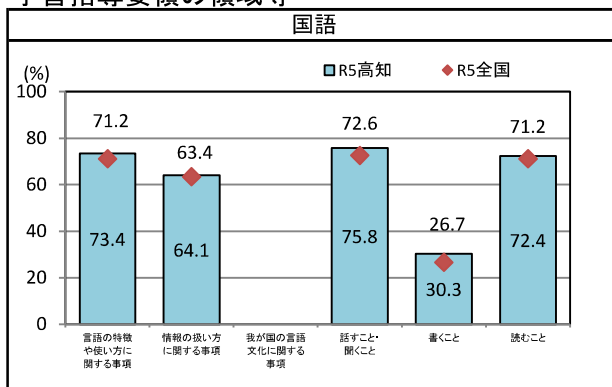


## 〔小学校算数〕

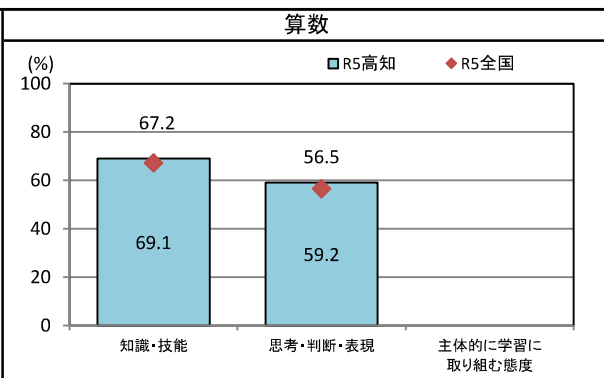
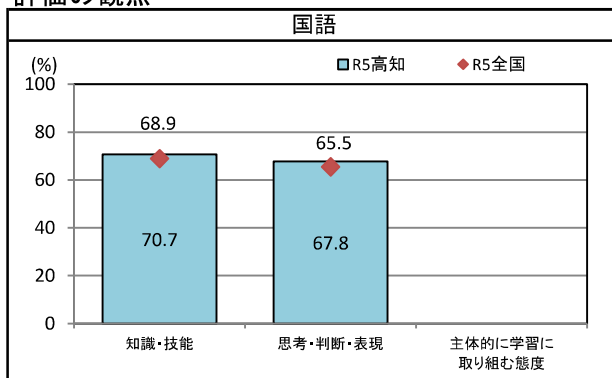
算数	児童数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	4,687	10.4	64.7	11.0	3.7
全国	964,350	10.0	62.5	11.0	3.8



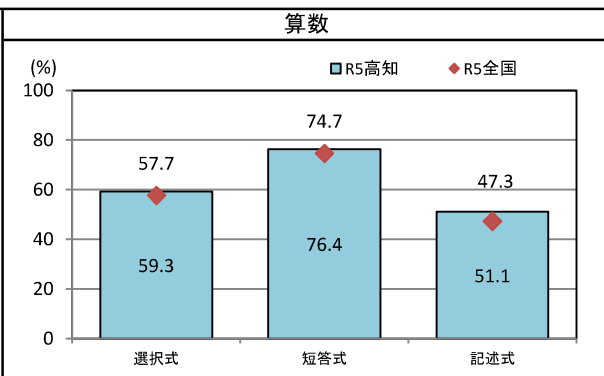
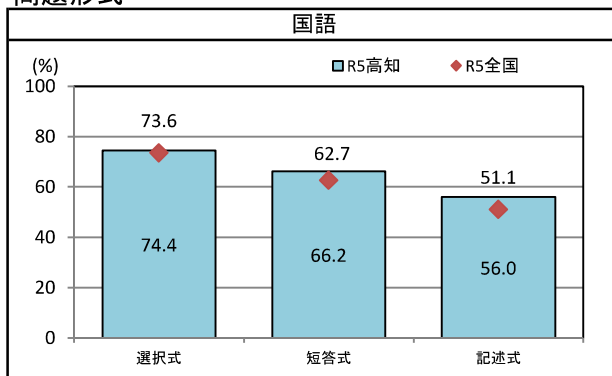
## 学習指導要領の領域等



## 評価の観点



## 問題形式



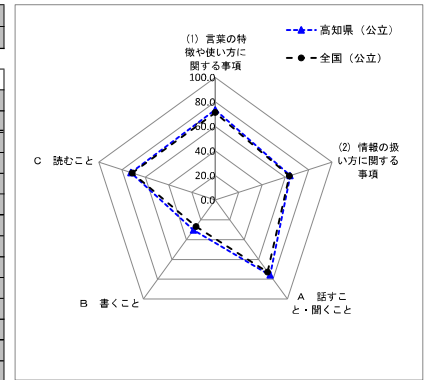
# 小学校 国語

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	高知県(公立) 184	全国(公立) 18,618	対象児童数	高知県(公立) 4,690	全国(公立) 964,177		
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)				
			高知県(公立)	全国(公立)			
全体					14	69.3	67.2
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	73.4	71.2		
		(2) 情報の扱い方にに関する事項	2	64.1	63.4		
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0				
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	75.8	72.6		
		B 書くこと	1	30.3	26.7		
		C 読むこと	3	72.4	71.2		
評価の観点	知識・技能	7	70.7	68.9			
	思考・判断・表現	7	67.8	65.5			
	主体的に学習に取り組む態度	0					
問題形式	選択式	9	74.4	73.6			
	短答式	2	66.2	62.7			
	記述式	3	56.0	51.1			

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



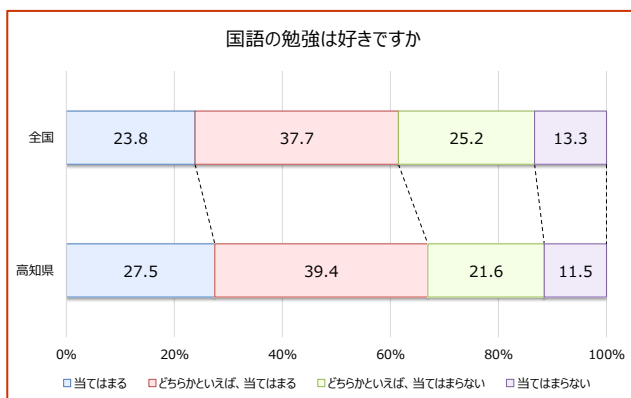
問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容						評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)							
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	高知県(公立)	全国(公立)	高知県(公立)	全国(公立)
			(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2) 情報の扱い方にに関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと	C 読むこと												
1-1	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		5・6ア					○				67.2	64.7	0.6	1.8				
1-2	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる					5・6エ		○				30.3	26.7	5.4	7.1				
1-3(1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6エ						○				58.1	52.8	2.1	4.8				
1-3(1)ウ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す(きかん)		5・6エ						○				74.3	72.6	3.8	6.7				
1-3(2)イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気を付けて書き直したのとして適切なものを選択する(くらべて)	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6ウ						○				94.0	93.1	0.2	1.0				
1-4	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる	5・6カ						○				81.0	79.8	0.8	2.0				
2-1	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる					3・4ウ		○				89.4	90.0	0.3	1.2				
2-2	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるか					5・6ウ		○				67.2	67.4	0.3	1.4				
2-3	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したのとして適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5・6イ						○				61.0	62.0	0.4	1.6				
2-4	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分できそうなことをまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる					5・6オ		○				60.5	56.2	5.6	8.5				
3-1(1)	【インタビューの様子】の傍線部ア(～ということだと思いますが、合っていますか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる					3・4エ		○				75.2	73.6	1.2	3.7				
3-1(2)	【インタビューの様子】の傍線部イ(～というのは、どのような姿ですか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する		3・4エ						○				75.1	74.0	1.4	4.1				
3-2	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	5・6エ						○				77.1	70.2	8.4	14.3				
3-3	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	5・6キ						○				59.4	57.6	3.9	9.5				





高知県 平均正答率	全国 平均正答率
69.3%	67.2%



国語の結果の概要

- 小学校の国語は、全国平均正答率を2.1ポイント上回っている。
- 国語が好きですかの質問に対して、「当てはまる」と回答した児童の割合は、全国より3.7ポイント高い。

令和5年度全国学力・学習状況調査 成果がみられた問題 小学校国語

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)	
				高知県	全国正答率との差
記述	3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	77.1	+6.9

< 分析・考察 >

【インタビューの様子】の寺田さんと山本さんの発言の中から、二人のボランティアに対する思いをまとめたり、区別したりして、言葉や文を取り上げながら書くことができた児童が8割近い結果となった。このことから、相手が自分に伝えたいことや、自分が求めている情報などを明確にして聞くことができるようにする指導が行われていると考えられる。

二 寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを「インタビューの様子」の「」で書くよう指示されています。あなたの答えは、このように書きます。次の条件に合致させて書きます。

○ 寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。  
 ○ 「インタビューの様子」の「」に、寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。  
 ○ 書き出しの言葉は、四十文字以上、六十文字以内をまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字根にはくくらない。

※ 寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを「インタビューの様子」の「」で書くよう指示されています。あなたの答えは、このように書きます。次の条件に合致させて書きます。

○ 寺田さんと山本さんの二人が、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことを書くこと。  
 ○ 「インタビューの様子」の「」に、寺田さんと山本さんの発言の中から言葉や文を取り上げて書くこと。  
 ○ 書き出しの言葉は、四十文字以上、六十文字以内をまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字根にはくくらない。

**授業改善のポイント** 聞く目的を明確にもたせて情報を収集し、自分の考えと比較しながらまとめる。

< 指導例 >

話を聞いて自分の考えをまとめる際には、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめさせる。その際、話し手の考えと自分の考えの共通点や相違点を整理したり、共感した内容や納得した事例を取り上げたりして、自分の考えをまとめるようにする。

令和5年度全国学力・学習状況調査 課題がみられた問題 小学校国語

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)	
				高知県	全国正答率との差
記述	1 二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる	30.3	+3.6

< 分析・考察 >

【カード④】から分かる問題点と、【カード⑤】を基にした解決方法は書いているが、【川村さんの文章】のグラフから分かる問題点を書けていない児童が2割を超えていた。このことから、自分の伝えたいことを、相手に分かりやすく伝えるためには、どのような図表やグラフなどを用いるとよいか、それぞれの図表やグラフの特徴や優れている点などについて理解させる指導が十分でないと考えられる。

授業改善のポイント

自分の考えを支える情報について吟味し、必要に応じて「書くこと」の指導事項を往還する学習過程で考えを深める

< 指導例 >

「書くこと」は、題材の設定・情報の収集・内容の検討、構成の検討、考えの形成・記述、推敲、共有の学習過程で構成されている。単元を計画する際は、重点を置く指導事項に留意しながら、構成の検討と記述、記述と推敲など、指導事項を往還する柔軟な学習過程を組み、自分の思いや考えがより分かりやすく伝えられる文章になるようにする。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米を収穫することができました。しゅうかまでには、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを播きました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けましたが、いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼでいらべました。おまかさんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量

田んぼの種類	7月1日	7月5日	7月10日	7月15日
農家の田んぼの雑草の量	1	2	3	4
学校の田んぼの雑草の量	3	4	5	6

このように取り組み、9月の下旬にお米を収穫することができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点と解決方法について考えようとしています。あなたも川村さんや、どのように書きますか。この条件に合わせて書きましょう。

三 川村さんの文章の「い」に入る内容を

付けたい力

図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる

題材の設定・情報の収集・内容の検討

構成の検討

考えの形成・記述

推敲

共有

目的

タブレット端末を便利に使って、効果的な学習方法を提案しよう

考えの形成・記述に取り組む中で、自分の考えを支える情報を吟味する。

「高知家まなびばこ」にデジタル作品を募集する情報が掲載されていたよ。

クラスみんなにアンケートをしたら、もっと授業でタブレット端末を使いたい人が多かったよ。



終わり

調査結果をもとに考えたこと

タブレット端末を使いたい場面
1 インターネットで調べる
2 デジタルドリルで問題を解く
3 考えを共有する

理由を説明する事例②

- ・アンケート結果
- 理由②

中

理由①

- ・理由を説明する事例①
- ・インターネットの情報

はじめ

調査のきっかけ

学校みんなに報告する文章を書いてみたけど、「中」で説明する理由や事例にグラフを使うと分かりやすい文章にならないかな。。。

考えの再検討

もう一度情報を集めて、伝わりやすい理由の述べ方や事例を示す順序を考えてみよう！

情報の再収集  
内容の再検討

構成の再検討

# 小学校 算数

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

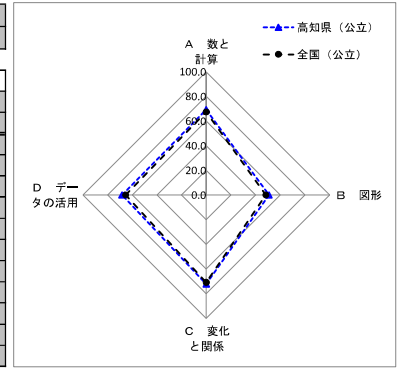
対象学校数	高知県（公立）	全国（公立）	対象児童数	高知県（公立）	全国（公立）
	184	18,615		4,687	964,350

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）	
			高知県（公立）	全国（公立）
全体				
		16	64.7	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	69.2	67.3
	B 図形	4	50.8	48.2
	C 測定	0		
	C 変化と関係	4	72.2	70.9
評価の観点	D データの活用	3	68.3	65.5
	知識・技能	9	69.1	67.2
	思考・判断・表現	7	59.2	56.5
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	0		
	選択式	5	59.3	57.7
	短答式	7	76.4	74.7
	記述式	4	51.1	47.3

※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞

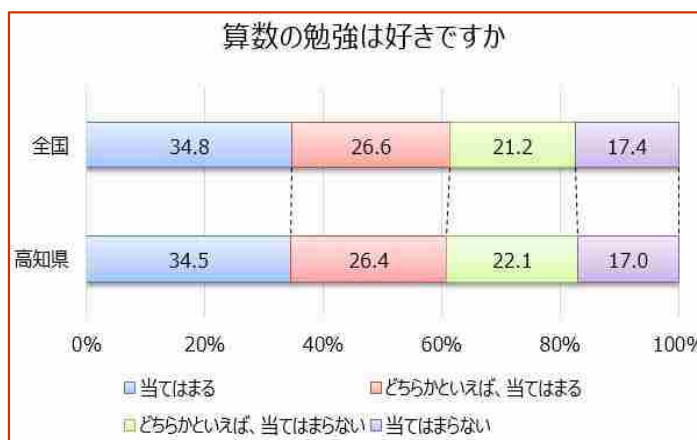


問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率（%）		無解答率（%）	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	高知県（公立）	全国（公立）	高知県（公立）	全国（公立）
1 (1)	5脚の椅子を並べたときの高さを求める	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる				4 (1) 7 (7)	○					○	94.2	93.5	0.4	0.8	
1 (2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる				5 (1) 4 (7)	○					○	88.8	88.5	0.5	1.0	
1 (3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさを求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる				5 (1) 4 (7) 5 (2) 4 (7)	○					○	61.5	55.5	2.9	3.4	
1 (4)	全部の椅子の数を求めるために、50×40を計算する	一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる	3 (3) 7 (7)				○					○	84.1	80.8	0.7	1.2	
2 (1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		4 (1) 7 (4)			○					○	63.6	59.8	0.2	0.7	
2 (2)	テープを折ったり切ったりしてきた四角形の名前を書く	正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		2 (1) 7 (4) 4 (1) 7 (7)			○					○	88.3	87.2	1.6	2.9	
2 (3)	切った開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときAの角の大きさを求める	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		3 (1) 7 (7) 5 (1) 7 (4)			○					○	27.4	24.9	2.1	3.7	
2 (4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる		5 (3) 4 (7)			○					○	23.7	20.8	2.3	4.0	
3 (1)	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているのかを選ぶ	( )を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる	4 (6) 7 (7)				○					○	71.0	70.3	0.7	1.4	
3 (2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる	3 (5) 7 (4) 4 (4) 5 (1) 7 (3) 4 (7)				○					○	57.5	56.7	2.7	4.0	
3 (3)	(151+49)×3と151×3+49×3を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる	4 (6) 7 (7) 4 (2) 7 (7)				○					○	76.3	72.4	1.6	2.5	
3 (4)	66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができるかどうかをみる	3 (4) 7 (7) 4 (3) 7 (7)				○					○	50.1	47.6	2.2	3.9	
4 (1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる		5 (3) 7 (4)			○					○	44.3	46.0	1.3	2.4	
4 (2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる	4 (2) 7 (4)		3 (1) 7 (7)		○					○	76.1	75.7	2.8	4.3	
4 (3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる		3 (1) 7 (4) 4 (7)			○					○	61.6	56.2	9.3	13.8	
4 (4)	二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる		4 (1) 7 (7)			○					○	67.4	64.6	3.0	4.9	

令和5年度全国学力・学習状況調査 小学校算数

高知県 平均正答率	全国 平均正答率
64.7%	62.5%



算数の結果の概要

- 小学校の算数は、全国平均正答率を2.2ポイント上回っている。
- 算数が好きですかの質問に対して、「当てはまる」と回答をした児童の割合は、全国とほぼ同等である。

令和5年度全国学力・学習状況調査 成果がみられた問題 小学校算数

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)	
				高知県	全国正答率との差
短答式	1 (2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる	88.8	+0.3

< 分析・考察 >

比例しないことを説明するために、表の中のどの数値に着目する必要があるかを見いだすことができている。授業において、比例しているかどうかを判断した理由を、表の数値を根拠として説明することを重視した授業改善が進んできたことが考えられる。

授業改善の  
ポイント

数学的に表現し、伝え合う活動の充実を図る

< 指導例 >

答えを求めることのみをゴールとせず、何に着目してどのように考えたのかを伝え合う学習活動を全学年を通じて充実させる。また、本問のように二つの数量の関係を考察する際には、椅子の数が1脚から2脚に2倍になっても、高さは45cmから51cmに変化し2倍になっていないことを調べるだけでなく、2脚から4脚のように1脚以外からも二つの数量の関係を考察し、説明し合うことも大切にしていこう。

(2) はるさんたちは、いすの数の高さの関係について考えています。

いすの数(キヤク)	1	2	3	4	5
高さ (cm)	45	51	57	63	A

はるま: 高さはいすの数に比例しているのでしょうか。

ゆうな: いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていないので、高さはいすの数に比例していません。

「いすの数が2倍になっても、高さは2倍になっていない」ことを、表の中の数を使うと、次のように説明することができます。

いすの数が  キヤクから  キヤクと2倍になっても、高さは  cmから  cmで2倍になっていません。

上の空、②、空、空にあてはまる数字、表の中の数から1つずつ選んで書きましょう。

令和5年度全国学力・学習状況調査 課題がみられた問題 小学校算数

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)	
				高知県	全国正答率との差
記述	2 (4)	テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだだけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる	23.7	+ 2.9

< 分析・考察 >

二つの三角形の面積が等しいことを選択し、等しい理由を記述することに課題がみられた。平行な二つの直線の幅はどこでも等しいことに着目し、示された三角形の底辺と高さを適切に捉えることや、底辺と高さが等しければ面積が等しくなることについての意味理解が十分に図られていないことが考えられる。

(4) さいごにあなたは、テープを直線で切って、下のような裏と表の2つの三角形をつくりまします。

上の裏と表の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。下の1から4までの中から1つを選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだだけを書き、言葉や数を使って書きまします。

- 裏の面積のほうが大きい。
- 表の面積のほうが大きい。
- 裏と表の面積は等しい。
- 裏と表の面積は、このままでは比べることができない。

授業改善のポイント

三角形の底辺や高さで面積の関係性に着目し、面積の大小を判断できるようにする

< 指導例 >

平行な直線にはさまれた底辺が等しい二つの三角形の面積を比較する活動が考えられる。倍積変形で三角形を長方形に帰着させたとき、長方形の縦と横が、元の三角形の底辺と高さに対応することや、公式を用いて実際に計算すると同じ数値になることから面積の大小を判断できるようにすることが大切である。

付けたい力

平行線の性質と図形の意味や性質を基に、面積の公式を考察することができる

テープを直線で切って、三角形を作りました。二つの三角形の面積を比べることができますか？

三角形の面積は、底辺と高さが分かれば比べられます。

底辺はどちらも3.2cmで等しいです。高さは、3.4cmと7.8cmじゃないかな。

高さは、底辺に垂直になっています。だから、3.4cmと7.8cmは高さではないと思います。

高さは書かれていないから分かりません。

高さが書かれていないと本当に比べられないのですか。

テープの上の線と下の線は平行だから、幅はどこでも等しいです。だから、高さは等しいです。数が分からなくても、高さが等しいことは分かるので比べられると思います。

底辺も高さも等しいから、形は違っていても、面積は等しくなると思います。

底辺も高さも等しいときは、面積が等しいことを図や式で説明できますか。

それぞれ、合同な三角形を組み合わせて変形させると、同じ長方形になることから、面積が等しくなることを実感する。

この長方形の縦と横は、元の三角形の底辺と高さだね。

三角形の面積は同じ長方形の半分だから等しいね。

どちらも高さが4cmと仮定して、三角形の公式で面積を求め、面積が等しくなることを実感する。

③  $\dots 3.2 \times 4 \div 2$   
 ④  $\dots 3.2 \times 4 \div 2$

実際の高さが分からなくても面積が同じとは分かるね。

さらに・・・系統性を意識した指導がポイントです！  
 第4学年で学習する直線の平行や垂直の性質の理解が大きく関わっています。

第4学年

平行な二直線は幅がどこも等しいね。

だから、どこまでのばしても変わらないんだね。

身のまわりには垂直や平行になっているものがあるんじゃないかな・・・

平行は二直線の位置関係を表しています。

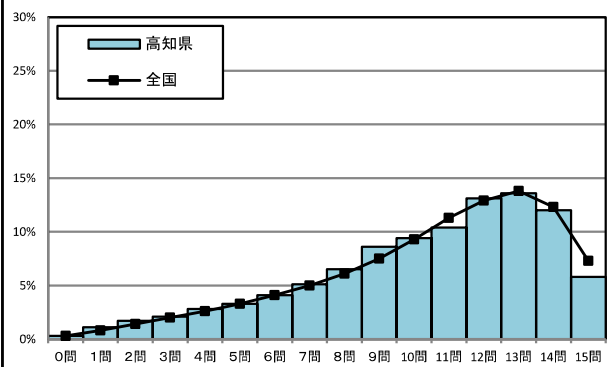
令和5年度 全国学力・学習状況調査 報告書 (小学校算数) 授業アイデア例 参照

# 各教科に関する学力の状況

## 〔中学校国語〕

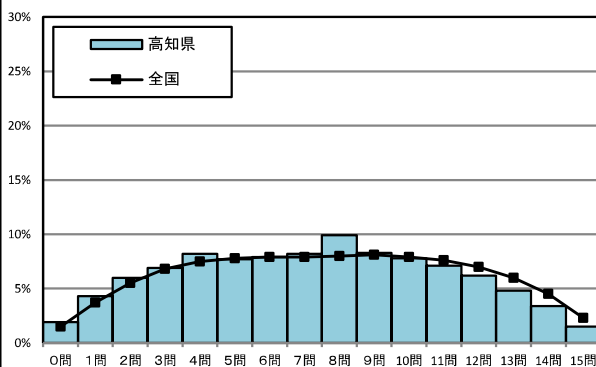
### 正答数分布の状況

国語	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	3,966	10.3	68.5	11.0	3.4
全国	892,738	10.5	69.8	11.0	3.4

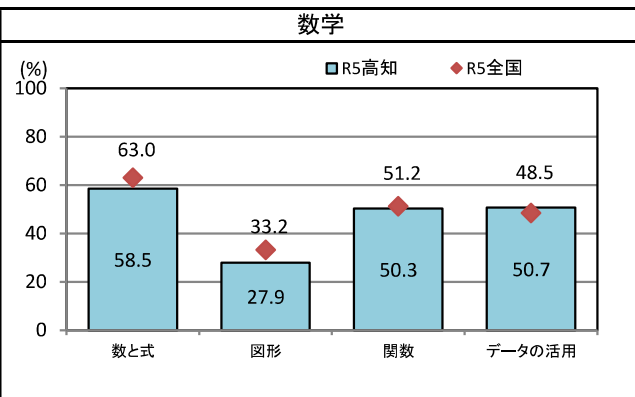
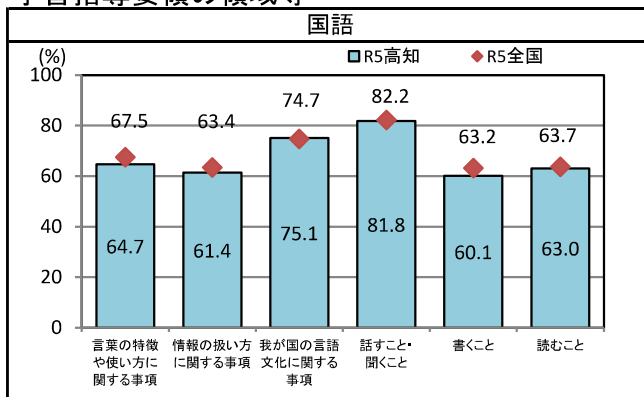


## 〔中学校数学〕

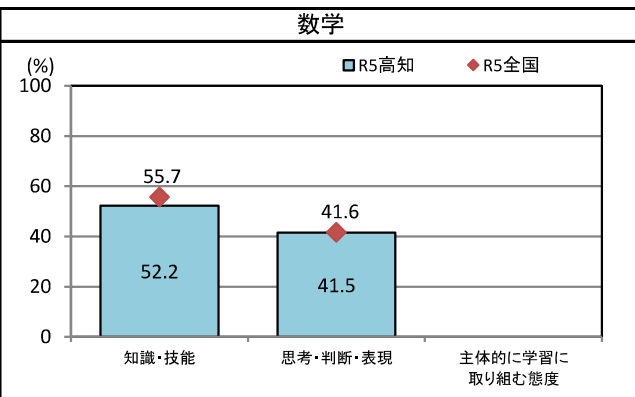
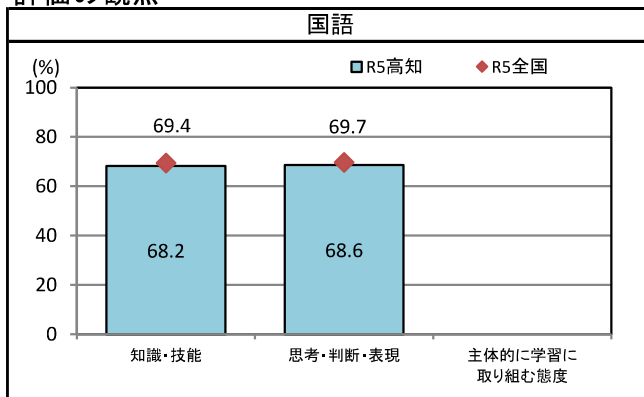
数学	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	3,967	7.3	48.6	7.0	3.8
全国	893,114	7.6	51.0	8.0	3.9



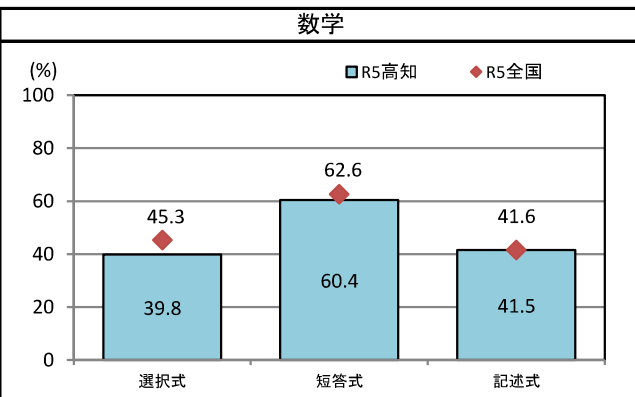
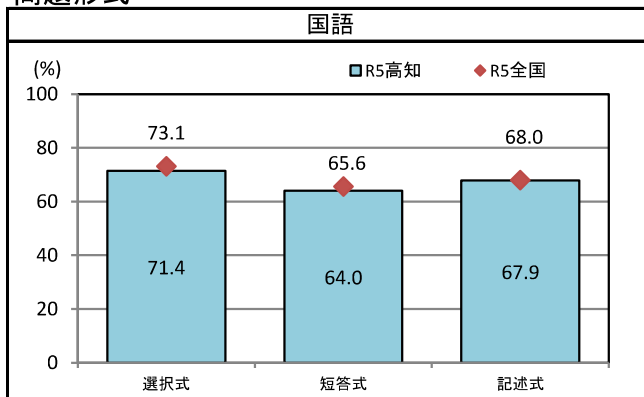
## 学習指導要領の領域等



## 評価の観点



## 問題形式

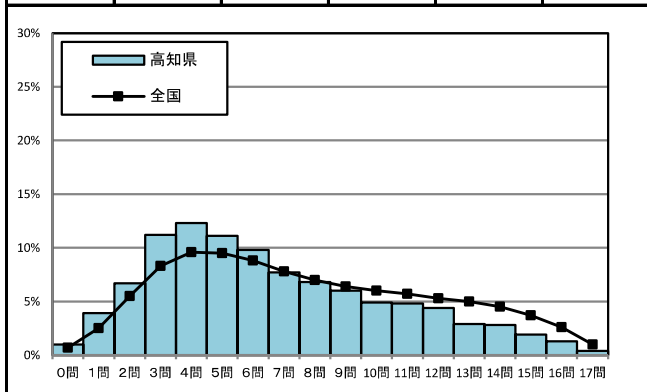


# 各教科に関する学力の状況

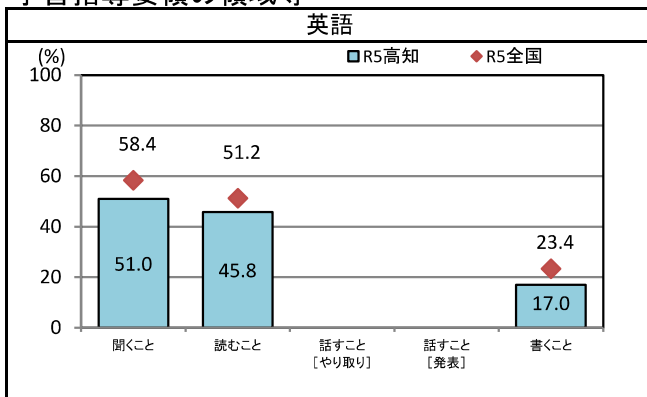
## 〔中学校英語〕

### 正答数分布の状況

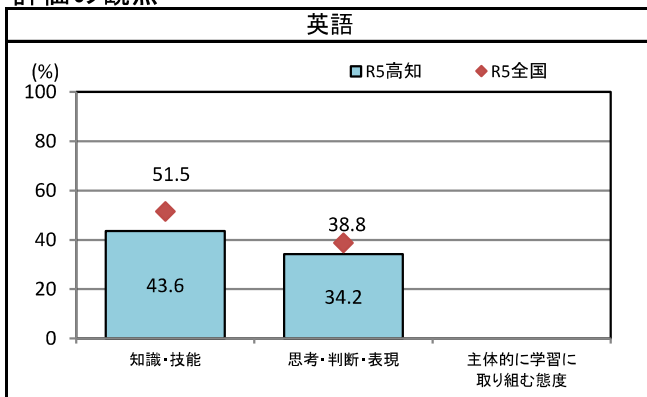
英語	生徒数	平均正答数	平均正答率	中央値	標準偏差
高知県	3,967	6.7	39.2	6.0	3.8
全国	893,528	7.7	45.6	7.0	4.2



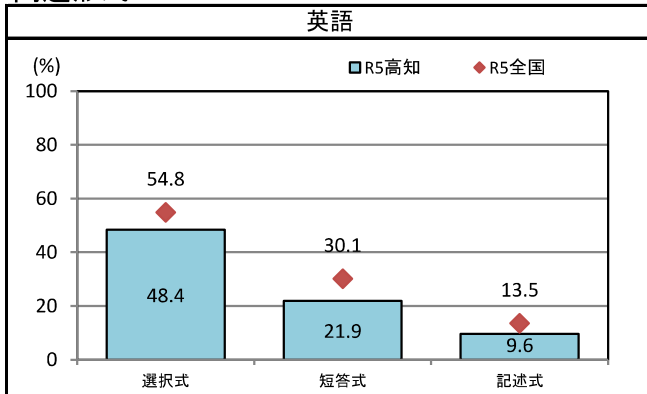
### 学習指導要領の領域等



### 評価の観点



### 問題形式





# 中学校 国語

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

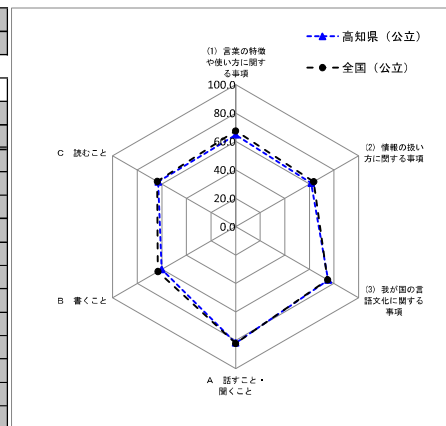
対象学校数		高知県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	高知県（公立）	全国（公立）
		98	9,336		3,966	892,738

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			高知県（公立）	全国（公立）	
全体			15	68.5	69.8
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	64.7	67.5
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	61.4	63.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	75.1	74.7
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	81.8	82.2
		B 書くこと	2	60.1	63.2
		C 読むこと	4	63.0	63.7
評価の観点	知識・技能	7	68.2	69.4	
	思考・判断・表現	9	68.6	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	7	71.4	73.1	
	短答式	4	64.0	65.6	
	記述式	4	67.9	68.0	

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

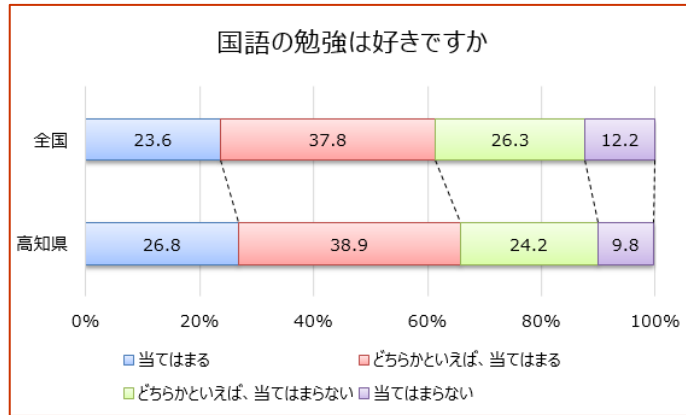
＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
			知識及び技能			思考力、判断力、表現力等		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	高知県（公立）	全国（公立）	高知県（公立）	全国（公立）	
			(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	(2) 情報の扱い方に関する事項	(3) 我が国の言語文化に関する事項	A 話すこと・聞くこと	B 書くこと											C 読むこと
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したのとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる				1ア				○					84.4	87.5	0.0	0.1
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		1ア						○					64.3	65.1	0.0	0.2
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したのとして適切なものを選択する	話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる				1エ				○					76.7	76.6	0.1	0.2
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる				1エ				○		○			84.4	82.5	8.3	10.8
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる	1ウ							○					89.1	91.1	0.1	0.2
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる								○					62.6	63.0	0.2	0.4
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	文章の中心的部分と付加的部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる				1ア				○					70.2	74.2	0.2	0.3
2四	自分がこれからどのように本を読みたいかについて、内容のまとめで文章を参考にして、知識や経験に触れながら書く	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる		2エ						○		○			67.8	67.5	3.6	3.9
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる				1エ				○					52.4	54.3	0.4	0.6
3二	漢字を書く（おし量って）	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2ウ							○					40.2	43.9	8.7	10.7
3三	「『判じ絵』とは何か」と見出しを付けた部分について、内容のまとめで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		2ア						○					58.4	61.8	1.6	2.1
3四	「『判じ絵』の解読の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解読の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる				1ウ				○		○			67.9	72.1	8.9	10.2
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる				1ア				○					83.8	82.5	3.1	3.6
4二	原文の中の語句に対応する言葉現代語で書かれた文章から抜き出す（いと）	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる				2イ				○					73.6	74.1	4.7	4.8
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる								○			○		51.3	50.0	18.2	20.7

高知県 平均正答率	全国 平均正答率
68.5%	69.8%



国語の結果の概要

- 中学校の国語は、全国平均正答率を1.3ポイント下回っている。
- 国語が好きですかの質問に対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国より3.2ポイント高い。

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)	
				高知県	全国正答率との差
記述	1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる	84.4	+1.9

< 分析・考察 >

【インタビューの様子】から、星野さんが考える「社会で働く上で大切なこと」を、自分の考えと比較したり関連付けたりしながら聞き、自分の考えをまとめることができた生徒が、8割を超える結果となった。このことから、インタビューする目的を理解し、自分の考えと比べながら聞き、相手の考えとの共通点や相違点を捉え、考えをまとめる指導が行われていると考えられる。

授業改善のポイント

聞き取ったことと自分の考えを比較し、話し手が伝えたいことを確かめたり、足りないことを聞き出したりする

< 指導例 >

聞き取ったことを基に、自分の考えをまとめる際には、聞き取った話の内容を整理し、話し手と自分の考えとを比較したり、関連付けたりできるようにする。そのためには、話を聞く目的や状況を意識した上で、必要に応じて重要な情報を書き留めたり、知らないことや確かめたいことなどを質問したりするなど、話の内容を正確に理解できるようにする。

製品開発にかける思い  
電化製品を開発するにあたって、最も大事にしているのは、安全性です。お子様からお年寄りまで、どの年代の方も安心して使えるような製品の開発を常に心がけています。しかし、安全性だけでなく、デザイン性や利便性も大事にしたいと考えています。  
例えば、私は、電気ケトルの開発を担当しています。電気ケトルは、容量が小さく、使う分だけ加熱でお湯を沸かせるのが特徴で、お湯の量の中でもお湯が冷めにくいという利点の一つです。安全性を確保しつつ、デザイン性や利便性も兼ね備えた製品を開発するのは難しいと思いますが、具体的などのような難しさがあるのか、  
・社会で働く上で何が大切だと思いますか。



# 中学校 数学

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

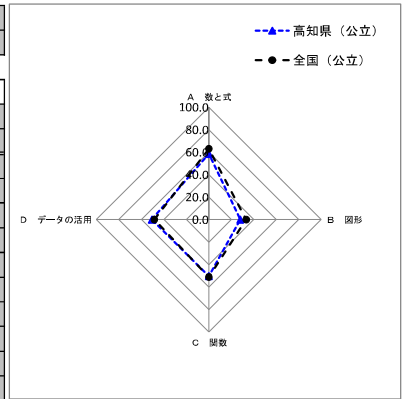
集計結果

対象学校数	高知県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	高知県(公立)	全国(公立)
	98	9,337		3,967	893,114

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			高知県(公立)	全国(公立)
全体				
		15	48.6	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	58.5	63.0
	B 図形	3	27.9	33.2
	C 関数	4	50.3	51.2
	D データの活用	3	50.7	48.5
評価の観点	知識・技能	10	52.2	55.7
	思考・判断・表現	5	41.5	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	4	39.8	45.3
	短答式	6	60.4	62.6
	記述式	5	41.5	41.6

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>



問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	高知県(公立)	全国(公立)	高知県(公立)	全国(公立)	
1	-5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解しているかどうかをみる	1(1) ア(7)				○				○			39.6	46.1	0.1	0.1
2	12(x/4 + y/6)を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	2(1) ア(7)				○				○			73.7	80.5	3.7	4.0
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる		1(2) ア(7)			○				○			24.8	30.4	0.5	0.8
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	反比例の意味を理解しているかどうかをみる			1(1) ア(4)		○				○			38.3	42.8	0.2	0.5
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				1(1) ア(7)	○				○			40.4	46.1	7.2	11.0
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかけられる数が2、たす数が3のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	1(1) ア(9)				○				○			86.2	88.9	2.7	2.4
6(2)	はじめの数にかけられる数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(4)				○				○			55.5	58.8	9.2	10.6
6(3)	はじめの数にかけられる数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(4)				○				○			37.5	40.9	18.7	24.7
7(1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる				2(1) ア(7)	○				○			72.9	65.7	3.5	5.6
7(2)	「2006年～2020年の休業日は、1991年～2005年の休業日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(7)	○				○			38.8	33.6	15.4	22.8
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる				2(1) ア(7)	○				○			56.9	57.5	6.1	8.6
8(2)	二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる				2(1) ア(4)	○				○			56.6	61.7	0.8	1.1
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(4)	○				○			49.4	42.8	8.0	13.2
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる				2(1) イ(7)	○				○			26.4	32.1	22.1	24.7
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる				2(2) イ(7)	○				○			32.4	37.0	13.4	14.2

令和5年度全国学力・学習状況調査 中学校数学

高知県 平均正答率	全国 平均正答率
48.6%	51.0%



数学の結果の概要

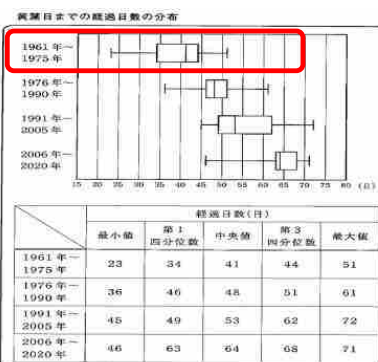
- 中学校の数学は、全国平均正答率を2.4ポイント下回っている。
- 数学が好きですかの質問に対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国より4.3ポイント高い。

令和5年度全国学力・学習状況調査 成果がみられた問題 中学校数学

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)	
				高知県	全国正答率との差
短答	7 (1)	1961年～1975年の四分位範囲を求める	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる	72.9	+7.2

< 分析・考察 >

大問7(2) (全国平均正答率+5.2)「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する」問題とあわせて、四分位範囲を求める問題に改善傾向がみられる。このことから、学習指導要領に新設された四分位範囲や箱ひげ図を用いて生徒が説明する活動を行い、学んだ知識・技能を活用して意味理解を図る指導改善による成果と考えられる。



授業改善のポイント

複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取る活動を通して、四分位範囲の必要性和意味を理解できるようにする

< 指導例 >

単純に四分位範囲を求めるだけではなく、数学的活動を通して、目的に応じてデータを収集し、四分位範囲や箱ひげ図を用いて、その傾向を読み取り、批判的に考察し判断した理由を説明できるように指導することが大切である。その際には、四分位範囲が小さいほどデータの中央値のまわりの散らばりの程度が小さいことを確認することも大切である。

(1) 1961年～1975年の四分位範囲を求めなさい

令和5年度全国学力・学習状況調査 課題がみられた問題 中学校数学

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)	
				高知県	全国正答率との差
記述	9 (1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる	26.4	-5.7

< 分析・考察 >

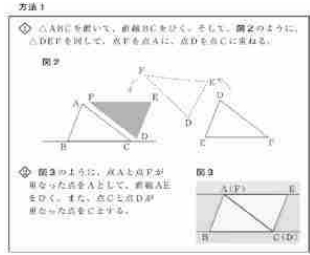
既に分かっていることを基に説明することができていない。構想を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現する指導が十分ではないと考えられる。

授業改善のポイント

事柄が成り立つことを構想に基づいて証明できるようにする

< 指導例 >

ある事柄が成り立つことを証明する際に、結論を導くために必要な事柄を結論から逆向きに考えたり、仮定や仮定から導かれる事柄を明らかにしたりした上で、それらを結び付けるには、あと何がいえればよいかと探る活動を通して、証明の方針を立てる活動を取り入れていく。



(1) 優奈さんは、前ページの方法1の直線BCと直線AEが平行になるかどうかを調べるために、右の図6をかきました。図6の△ABCと△CEAは、それぞれCA=CB、AC=AEで、△ABC≡△CEAです。

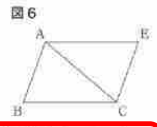
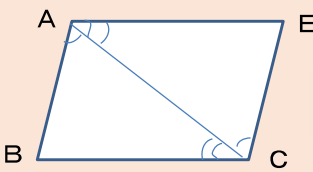


図6において、BC//AEであることは、すでに分かっている△ABC≡△CEAをもとにして、同位角または錯角が等しいことを示すことで証明できます。BC//AEであることを証明しなさい。

付けたい力

図形の性質を見だし、平行線や角の性質を基にして、事柄が成り立つ理由を構想を立て、証明することができる

見だした事柄が成り立つ理由について、構想を立てる場面



BC//AEであることをいうのは、錯角が等しいことをいえば、いいんじゃないかな？

証明の方針を確認しましょう。

大問9(1)における授業アイデア例

BC//AEになりそうだ。平行であることをいうには、何を根拠にしたらよいか？分かっている等しい長さや等しい角の大きさはどこかな？

2つの三角形が合同だから、等しい角は  $\angle BAC = \angle ECA$   
 $\angle BCA = \angle EAC$   
分かっていることを図にかき込んでみよう。それぞれ等しいことが分かるけどBC//AEであることを証明するために必要な条件は何か？

【方針】

結論 BC//AEを証明するためには、錯角が等しいことをいいたい。  
そのためにはすでに分かっていること  
仮定  $\triangle ABC \equiv \triangle CEA$ をもとに合同な図形の対応する角が等しいことを根拠にして  
 $\angle BCA = \angle EAC$ から錯角が等しいことを示したらいい。

証明を振り返り、証明に用いた前提や根拠を整理する場面

友達の証明を読んで、自分の書いた証明を見直してみよう。根拠として、使える条件になっていますか。

平行四辺形だからというのは、最初に根拠として、使ったらだめだと思うよ！

2つの三角形が合同であることは、BC//AEの根拠にはならないよ！



構想を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現できるようにしましょう。



# 中学校 英語

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

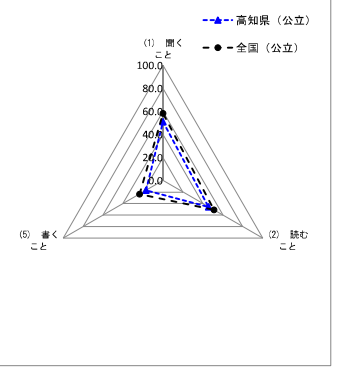
集計結果

対象学校数	高知県(公立)	全国(公立)	対象生徒数	高知県(公立)	全国(公立)
	98	9,335		3,967	893,528

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			高知県(公立)	全国(公立)
全体				
		17	39.2	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	51.0	58.4
	(2) 読むこと	6	45.8	51.2
	(3) 話すこと [やり取り]	0		
	(4) 話すこと [発表]	0		
	(5) 書くこと	5	17.0	23.4
評価の観点	知識・技能	9	43.6	51.5
	思考・判断・表現	8	34.2	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	12	48.4	54.8
	短答式	3	21.9	30.1
	記述式	2	9.6	13.5

<学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

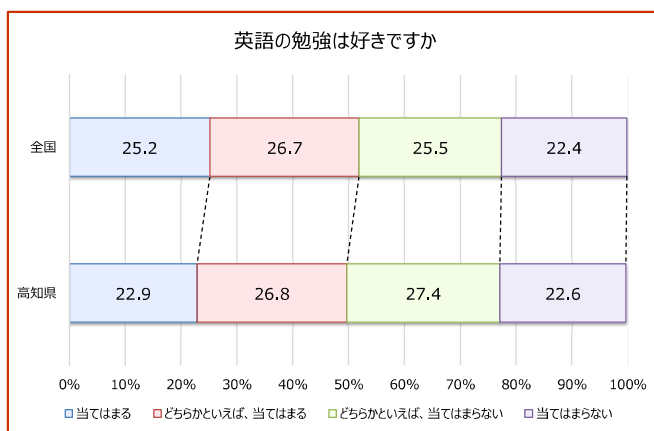


問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと [やり取り]	(4) 話すこと [発表]	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	高知県(公立)	全国(公立)	高知県(公立)	全国(公立)
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			71.1	79.0	0.1	0.1
1 (2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			55.1	64.4	0.1	0.2
1 (3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○			○			38.9	49.8	0.1	0.2
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○			○			55.1	61.1	0.1	0.2
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○			○			36.3	41.2	0.1	0.2
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ					○			○			49.4	54.8	0.2	0.4
5 (1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○					○			○			49.7	56.0	0.2	0.3
5 (2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる	○					○			○			57.5	64.5	0.2	0.3
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	ア					○			○			31.2	35.9	0.4	0.3
7 (1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる	○					○			○			54.6	59.8	0.2	0.3
7 (2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる	イ					○			○			31.2	34.7	0.5	0.7
8 (1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ					○			○			50.9	56.1	0.6	0.8
8 (2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる				ウ		○			○			14.4	19.5	22.5	29.3
9 (1) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	未来表現 (be going to) の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる				ア		○			○			29.9	40.4	6.6	6.6
9 (1) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる				ア		○			○			13.7	20.9	10.2	10.9
9 (2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる				ア		○			○			22.1	29.0	22.1	24.5
10	学校生活 (行事や部活動など) の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる				イ		○			○			4.8	7.4	17.1	21.4

令和5年度全国学力・学習状況調査 中学校英語

高知県 平均正答率	全国 平均正答率
39.2%	45.6%



英語の結果の概要

- 中学校の英語は、全国平均正答率を6.4ポイント下回っている。
- 英語の勉強が好きですかの質問に対して、「当てはまる」と回答した生徒の割合は、全国より2.3ポイント低い。

令和5年度全国学力・学習状況調査 課題がみられた問題 中学校英語

問題形式	問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率 (%)	
				高知県	全国正答率との差
記述	10	学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる	4.8	-2.6

< 分析・考察 >

日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章で書く（①学校生活の中から1つ取り上げている②紹介する内容を一貫性のある文章で書く③25語以上の英語で書く）ことが十分にできていない。さらに上記3つの条件を満たしているものの、コミュニケーションに支障をきたすような語や文法事項の誤りがある解答が35.1%であることから、基本的な語や文法事項を理解して正しく文章を書くことに課題があると考えられる。

あなたの学校では、学校の英語版ウェブサイトを開いています。あなたは、そのサイトに学校紹介を掲載することになりました。学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それについて説明するまとまりのある文章を25語以上の英語で書きなさい。

授業改善のポイント

- 領域を統合しながらまとまりのある文章を書く
- 目的・場面・状況に応じて読み手を意識した英文を正確に書く

< 指導例 >

「書くこと」は、生徒一人一人の習得に差が付きやすい領域であるため、まとまりのある英文を書くこと、聞いたり読んだりしたことを書くことができるようにするためにも、小学校での学習を踏まえ、中学校1年生の時期に丁寧に指導し、着実に書くことができるようにすることが大切である。また、「読むこと」の活動を通して文構造、特に主語と動詞を正しく捉えさせることや、誤りのある英文を自己修正する力を身に付けさせることで正しく書くことにつながると考えられる。


付けたい力

複数の領域を統合しながら、まとまりのある文章を書くことができる

あなたは学校で、学校の英語版ウェブサイトを開発しています。あなたはそのサイトに新しく来たALTと一緒に訪れるALTの家族のために、地域のおすすめスポットの紹介文を掲載することになりました。

**S L** ①目的達成のためのやり取り

誰に対して、何のために書くのかを明確にして、生徒が**書くための視点**をもつことができるようにする。

Who is coming? Only your parents?

My parents, my elder sister and her two children.

What do you and your family like to do?

My mother and my elder sister like shopping. They want to buy some interesting in Japan. We are interested in Japanese culture.

書く前に**ALTのニーズ**を知ることによって相手にとって役立つ情報を紹介することを意識することができます。

**W** ②得られた情報をもとに書く

自分がその場所を気に入っているかということだけではなく、**相手にとってのおすすめになっているか**という視点で書く。

I chose B because it has a lot of nature.

His sister has two little children.

I think they want to play outside.

They can enjoy camping there.

A・伝統的な建物と土産物店がある場所  
B・自然が多く、テーマパークやショッピングセンターがある場所

**S L** ③さらにALTに質問し、情報を集める

即興でやり取りするために、教科書などを活用し、既習表現からやり取りに役立つ表現を見つけ出す活動に取り組むことも有効です。

④情報を整理する

質問して得られた情報をワークシートにまとめたり、聞いて得た情報をメモや、図式化したりする。

Which place do you want to introduce?		
質問したこと	A	B
Japanese culture		○
shopping	○	○
one or two days	○	

**W R** ⑤まとまりのある文章を書く・読み合う

Kevin said, "My sister has two children." So, I want to introduce B. B has a big theme park. When they go there, they will enjoy playing there. Kevin said, "My family like shopping". I think when they go to B, they will enjoy shopping.

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例 (p 17-24) を加工して作成

付けたい力

さらに

目的・場面・状況に応じて語や文法事項等を理解して正しく文を書くことができる

全体

①前時に書いた生徒の英文から誤りの多かった文をクラス全体に提示して全員で修正する。

Let's correct the errors together.

Kevin from Canada. He is live Kochi. He don't haves any pets. He want a dog now. He can plays golf well.

「～出身」ってKevin from ?

isとliveは一緒に使えた?

個人

②生徒が気付いた誤りのポイントをまとめてチェックリストにします。1人1台端末を用いて生徒がリストを作成することもできます。

You can use the check list. When you rewrite, don't use an eraser.

- Fromの前にisがあるか
- be動詞と一般動詞を一緒に使っていないか
- canの後ろの動詞の形は正しいか
- 主語+動詞の語順は正しいか

Mary from Canada. She lives Tokyo.

is

in

She don't speak Japanese. doesn't

先生が添削する場合も答えを示すのではなく、気づきを促すためのコレクションコードを活用することもできます。

SPL	スペルミス	PL	複数形
WO	語順ミス	P	ピリオド

Mary from is Canada

WO SPL P

Mary is from Canada.

相手に正しく伝わる文章になっているかどうかを、生徒自身が読み直して誤りに気づき、修正を加えながら正確さを高めることが大切です。

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイデア例 (p 19.20) を加工して作成

# 4技能を統合的に活用させる授業

☆子どもの英語力向上のための授業改善のポイント

「聞くこと」「話すこと〔やり取り・発表〕」「読むこと」「書くこと」の4技能の活動を、関連づけながら指導することが重要です。





## 【5】【書くこと】

留学生のボブが、日本の未来のロボットに対する意見募集の知らせを見て、自分の意見を書きました。あなたはその意見を読んだあと、ボブに向けて自分の意見を英語で書くことにしました。35語以上の英語で自分の感想を書きなさい。

My \*Opinion about robots in the future  
Bob Brown

I came to Japan last August. Now I am staying with Mr. and Mrs. Yamaoka. Both of them work from morning until evening. They are always very busy, and so they don't have enough time to clean their house. The robot helps them clean their house. It's really useful. I think more and more people will use robots in the future if they get cheaper. (74 words)

(注) opinion : 意見

\_\_\_\_\_ 5 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 10 \_\_\_\_\_


\_\_\_\_\_ 15 \_\_\_\_\_ 20 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 25 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 30 \_\_\_\_\_ 35 \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 40 \_\_\_\_\_


\_\_\_\_\_ 45 \_\_\_\_\_



## 高知これ単

.. KOCHI Core-tan ..

これだけは身につけよう 2500語



**定着度チェック問題 ☆☆☆**

- 定着度チェック問題 ①
- 定着度チェック問題 ②
- 定着度チェック問題 ③
- 定着度チェック問題 ④
- 定着度チェック問題 ⑤

**チャレンジ問題 ① - First Challenge - ☆☆☆**

- 1・2 チャレンジ問題 ①
- 3・4 チャレンジ問題 ①
- 5・6 チャレンジ問題 ①
- 19・20 チャレンジ問題 ①
- 21・22 チャレンジ問題 ①
- 23・24 チャレンジ問題 ①

**チャレンジ問題 ② - Second Challenge - ☆☆☆**

- 1・2 チャレンジ問題 ②
- 3・4 チャレンジ問題 ②
- 5・6 チャレンジ問題 ②
- 19・20 チャレンジ問題 ②
- 21・22 チャレンジ問題 ②
- 23・24 チャレンジ問題 ②

### 1人1台端末を活用して 習熟度を把握した指導計画

単元前に指導内容と関連する既習問題  
(定着度チェック)に取り組む

指導の個別化

● 定着度が低い ●

既習事項を補う教材を用意したり、内容を丁寧に確認したりする指導計画を検討する。

● 定着度が高い ●

単元で身に付ける資質・能力を発展的に扱う指導計画を検討する。

● 個人差が大きい ●

授業において定着度が低い生徒への机間指導を重点的に行ったり、授業外の加力指導を行ったりする。

### 1人1台端末を活用して 個々の進度に応じて学習を選択

単元の終末に指導内容の定着を確認する  
問題(定着度チェック)に取り組む

学習の個性化

● 定着度が低い ●

生徒は個々の定着度に応じて、再度定着度チェックに取り組んだり、関連する既習問題に取り組んだりするなど、補充的な問題に取り組む。

● 定着度が高い ●

生徒は個々の定着度に応じて、チャレンジ問題①または②へ進み、発展的な問題に取り組む。

高知県教育委員会事務局 小中学校課

28

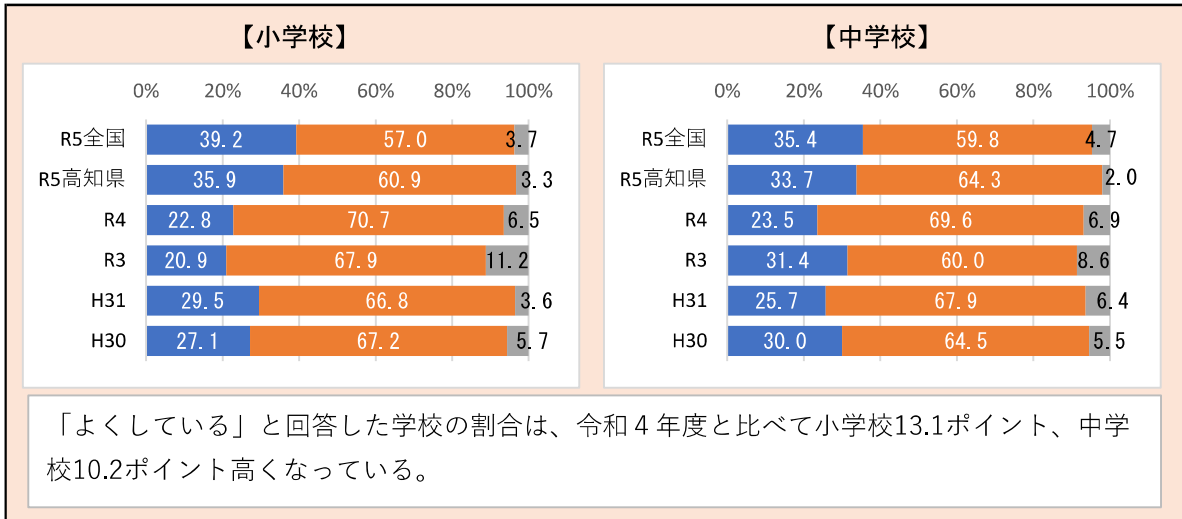
# 質問紙調査

# 学校運営に関する状況

学校 質問紙	(19)	児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか
-----------	------	--

高知県（経年）

■よくしている ■どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない

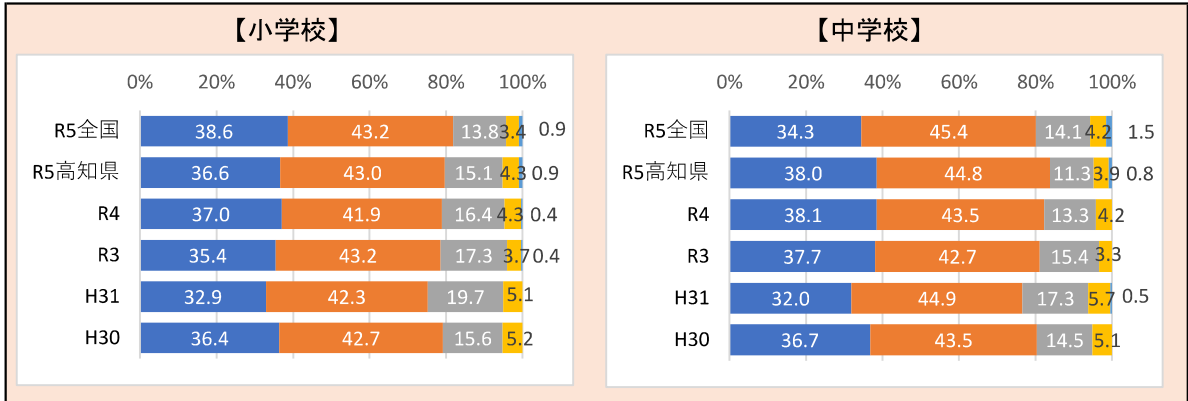


# 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

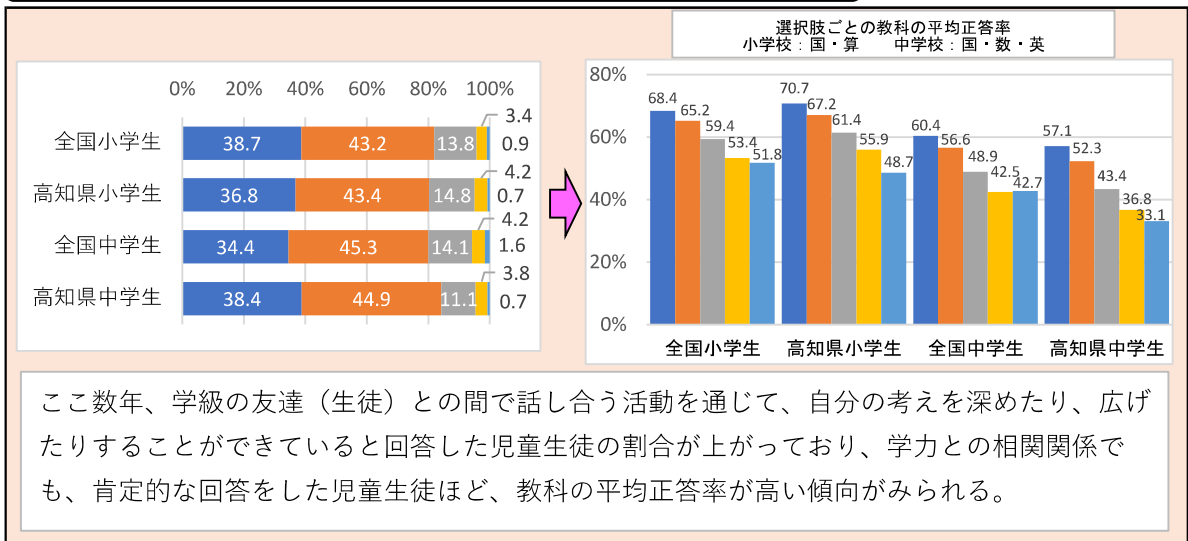
児童・生徒 質問紙	(36) (40)	学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
--------------	--------------	---

高知県（経年）

■ 当てはまる  
■ どちらかといえば、当てはまる  
■ どちらかといえば、当てはまらない  
■ 当てはまらない  
■ 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない



## 令和5年度調査結果から見られた質問項目（36）（40）と正答率との相関



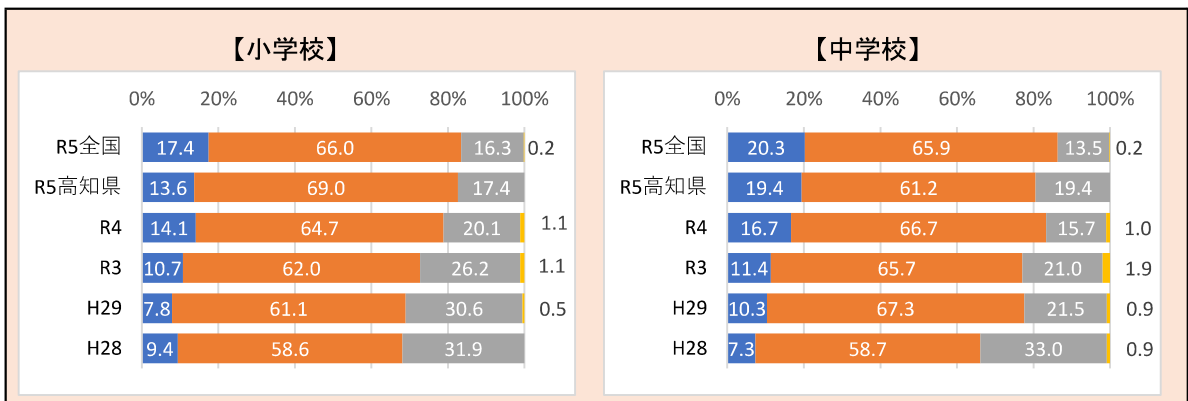
ここ数年、学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると回答した児童生徒の割合が上がっており、学力との相関関係でも、肯定的な回答をした児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向がみられる。

※平成31年度以前においては、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」の選択肢であったため、「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を行っていない」と回答した児童生徒がいない。

学校 質問紙	(29)	調査対象学年の児童（生徒）は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
-----------	------	--

高知県（経年）

■ そう思う  
■ どちらかといえば、そう思う  
■ どちらかといえば、そう思わない  
■ そう思わない

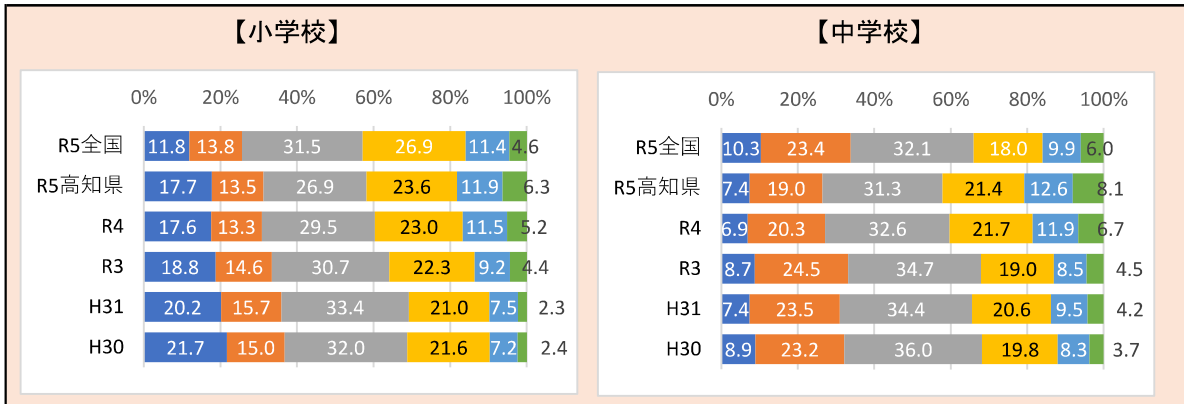
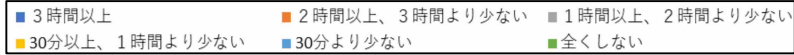




# 学習習慣

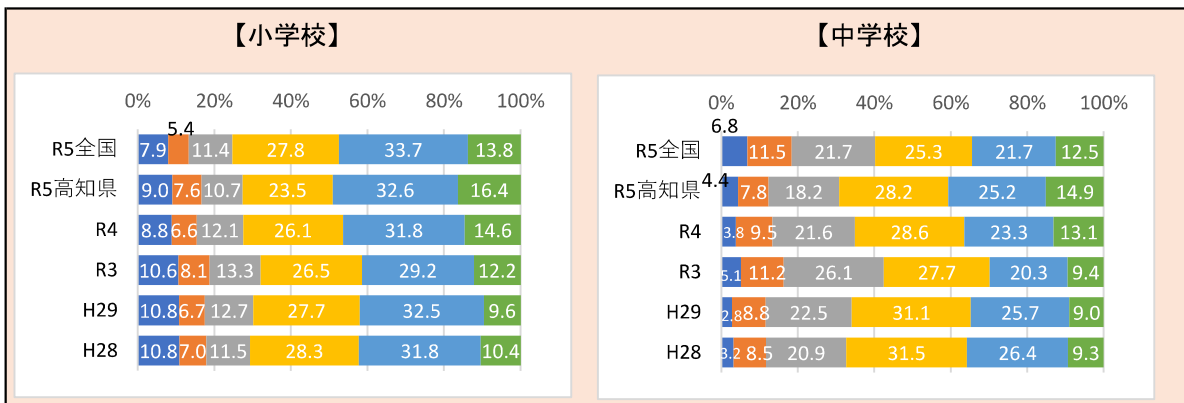
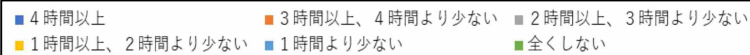
児童・生徒 質問紙	(17)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます）
--------------	------	---

高知県（経年）



児童・生徒 質問紙	(18)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
--------------	------	--

高知県（経年）

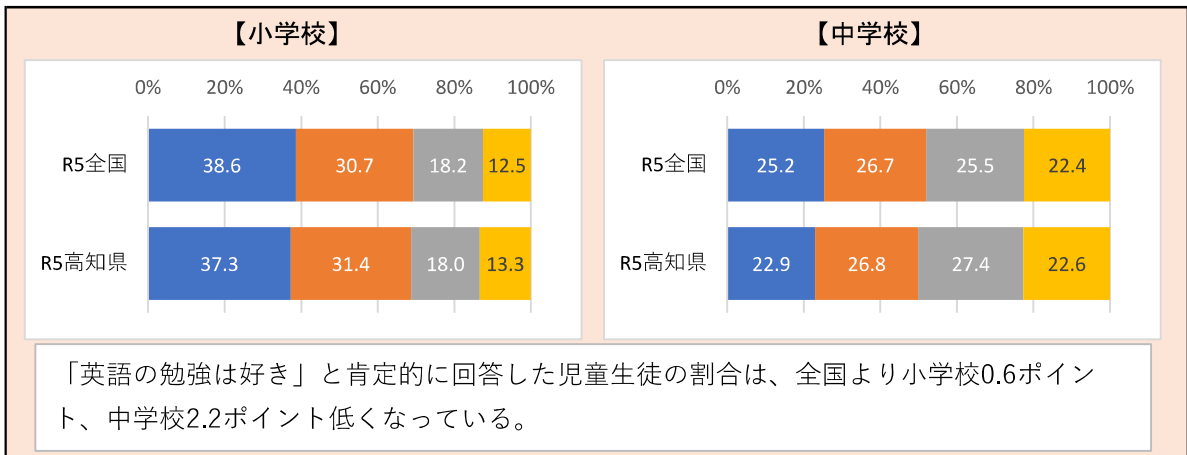


## 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）

児童・生徒 質問紙	(55) (59)	英語の勉強は好きですか
--------------	--------------	-------------

### 令和5年度調査結果

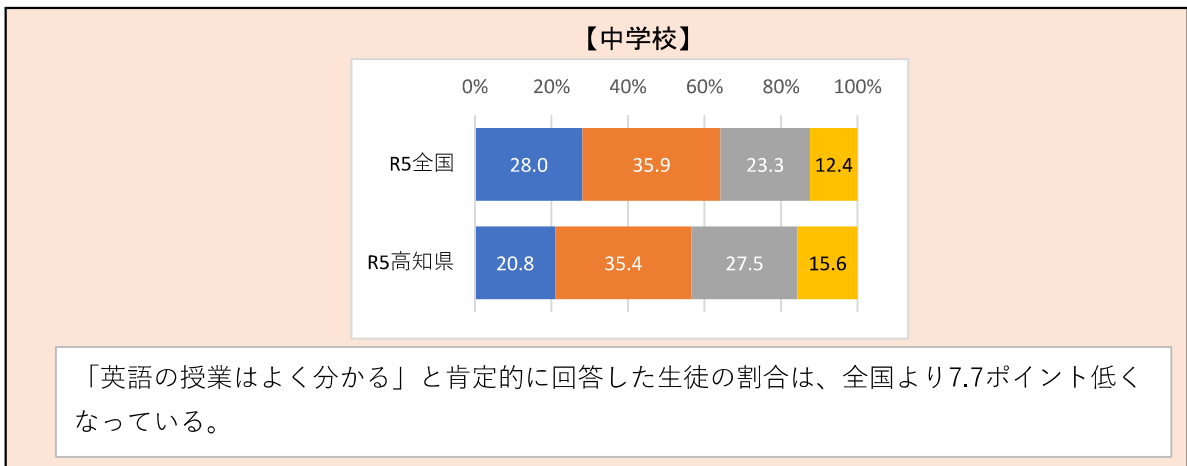
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



生徒 質問紙	(61)	英語の授業の内容はよく分かりますか
-----------	------	-------------------

### 令和5年度調査結果

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

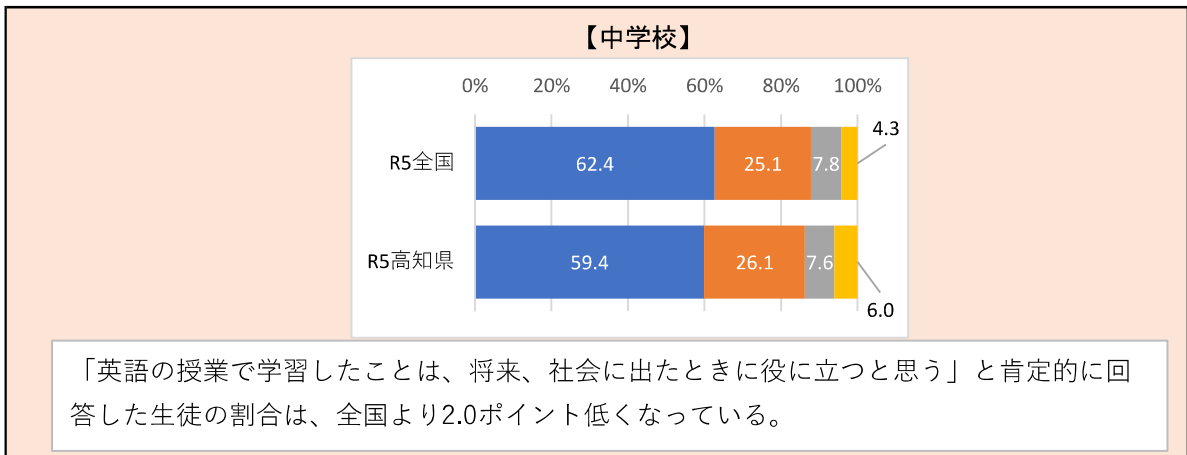


## 学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）

生徒 質問紙	(62)	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
-----------	------	-------------------------------------

### 令和5年度調査結果

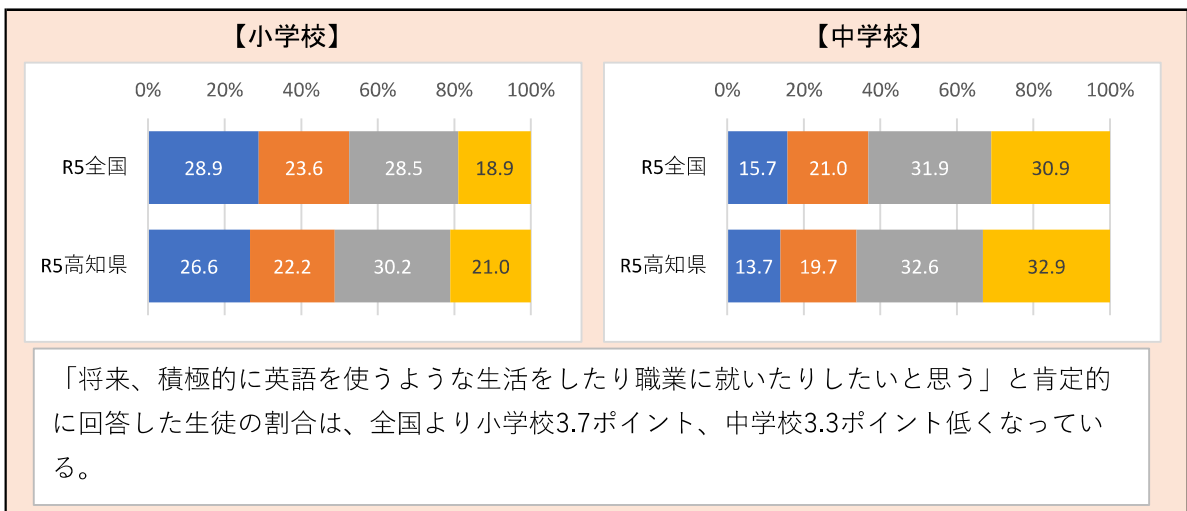
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



児童・生徒 質問紙	(57) (63)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか
--------------	--------------	---------------------------------------

### 令和5年度調査結果

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

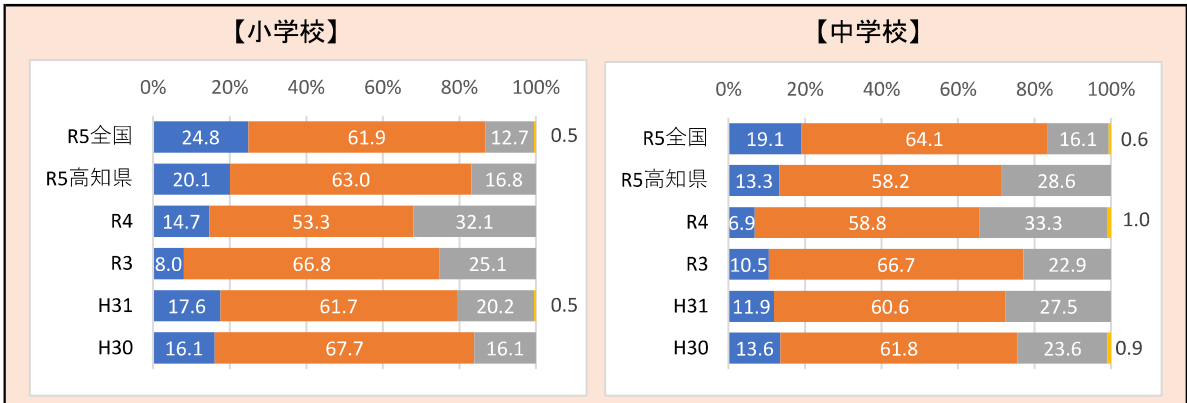


# 地域や社会に関わる活動の状況等

学校 質問紙	(71) (79)	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか
-----------	--------------	------------------------------------

高知県（経年）

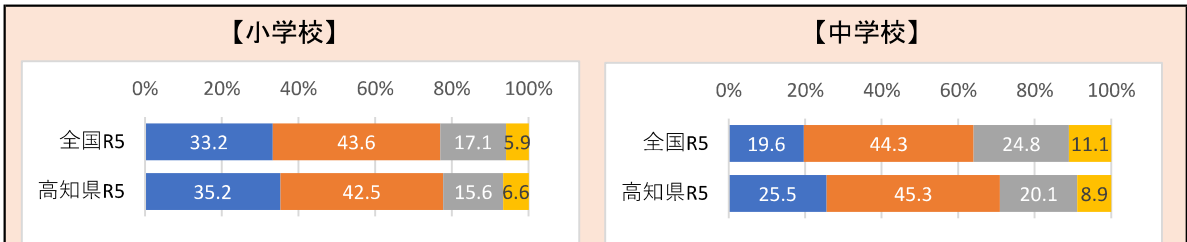
■よくしている ■どちらかといえば、している ■あまりしていない ■全くしていない



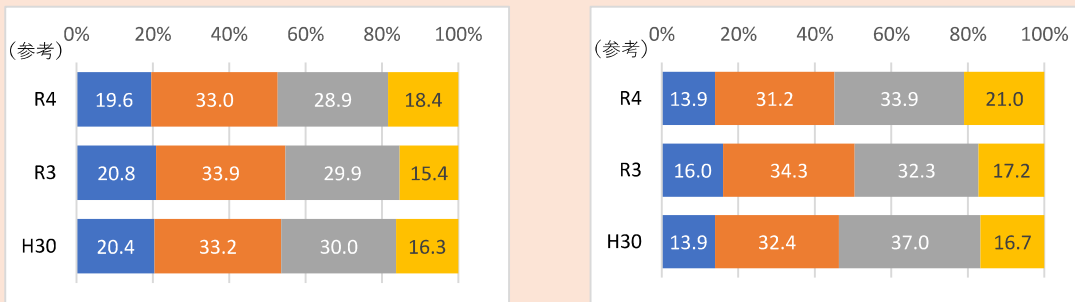
児童・生徒 質問紙	(26) (30)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
--------------	--------------	----------------------------

高知県（経年）

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国と比べて小学校0.9ポイント、中学校6.9ポイント高くなっている。



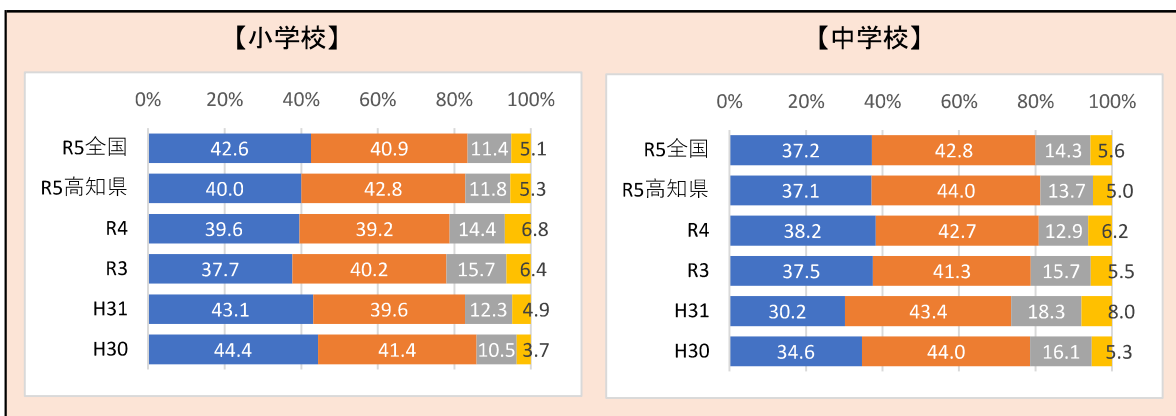
※令和4年度以前においては、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある」という項目であった。

# 自己有用感等

児童・生徒 質問紙	(4)	自分には、よいところがあると思いますか
--------------	-----	---------------------

## 高知県 (経年)

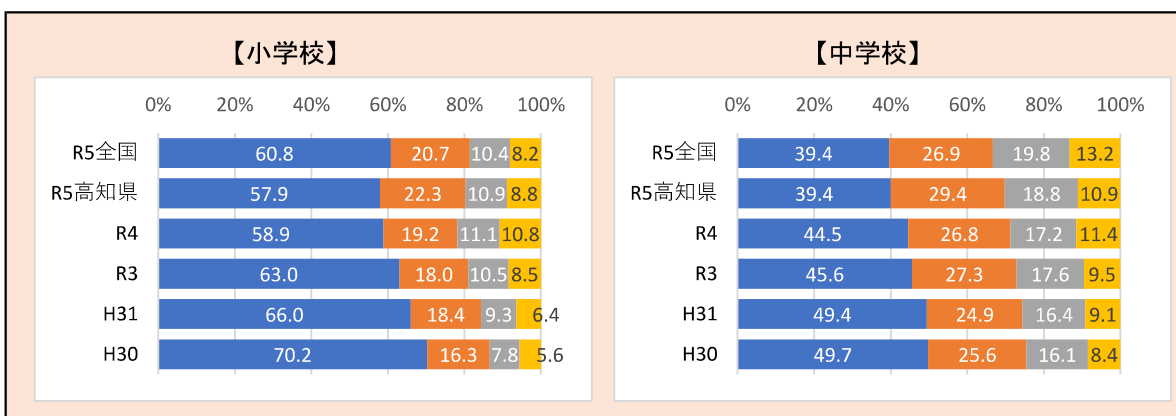
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



児童・生徒 質問紙	(7)	将来の夢や目標を持っていますか
--------------	-----	-----------------

## 高知県 (経年)

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

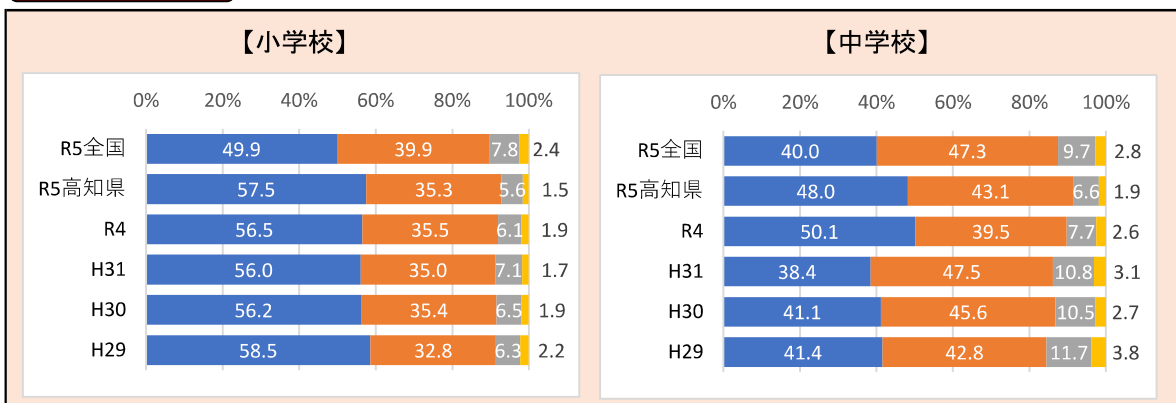


# 自己有用感等

児童・生徒 質問紙	(5)	先生は、あなたのよいところを認めてくれていますか
--------------	-----	--------------------------

高知県（経年）

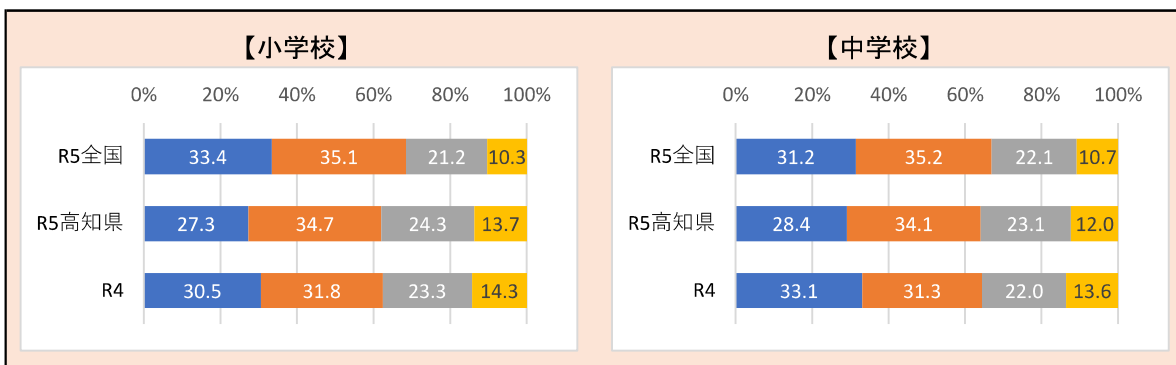
■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない



児童・生徒 質問紙	(10)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
--------------	------	-------------------------------------

高知県（経年）

■当てはまる ■どちらかといえば、当てはまる ■どちらかといえば、当てはまらない ■当てはまらない

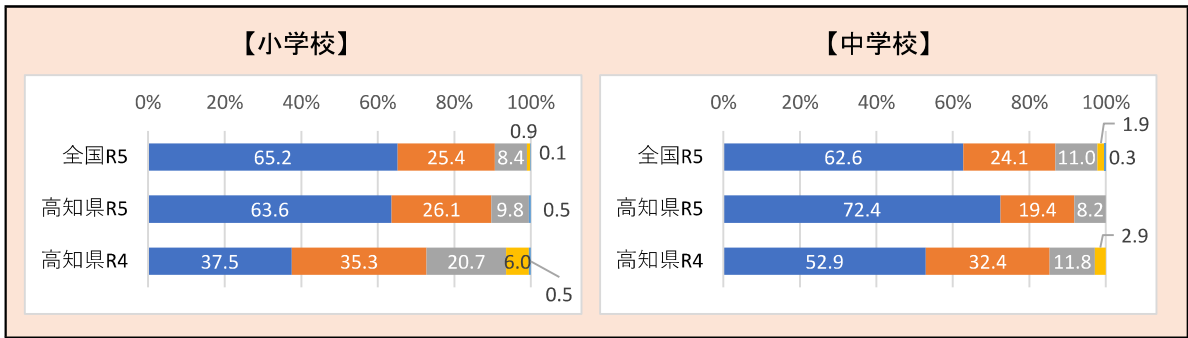


「先生は、あなたのよいところを認めてくれています」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校ともに増加している。一方、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、少なくなっている。

# ICTを活用した学習状況

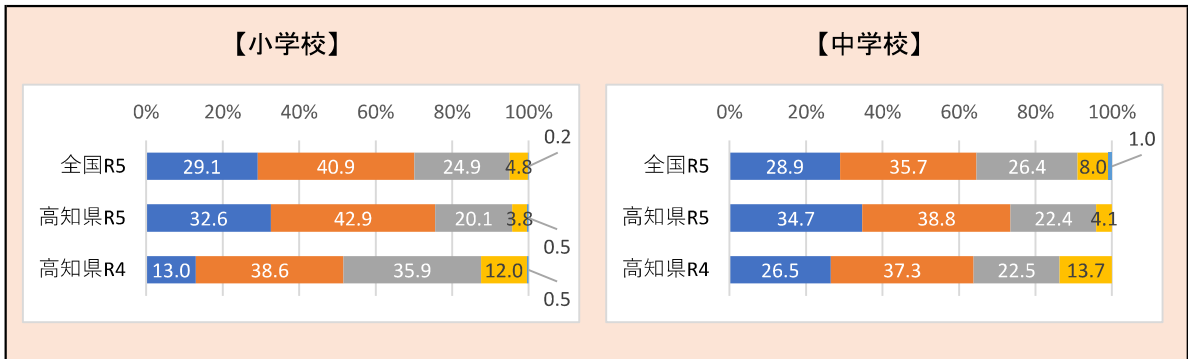
学校 質問紙	(55) (63)	調査対象学年の児童（生徒）に対して、前年度までに、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか
-----------	--------------	---

高知県（経年）



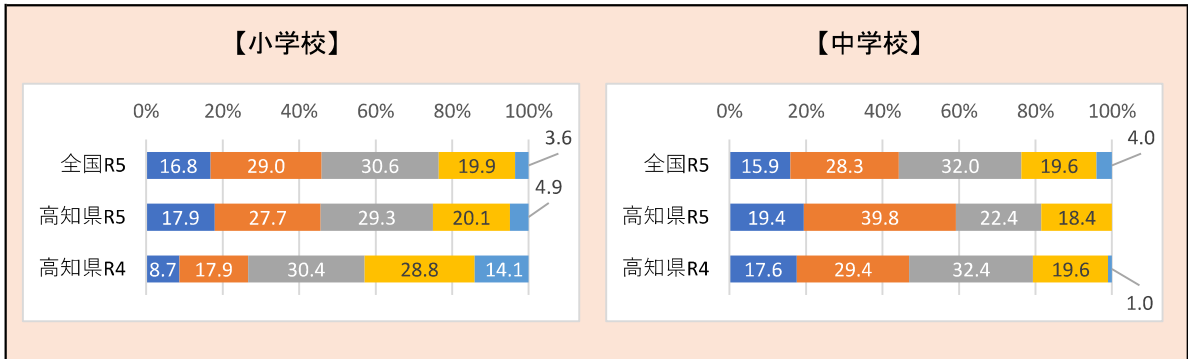
学校 質問紙	(56) (64)	調査対象学年の児童（生徒）が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
-----------	--------------	---

高知県（経年）



学校 質問紙	(57) (65)	調査対象学年の児童（生徒）が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
-----------	--------------	--

高知県（経年）

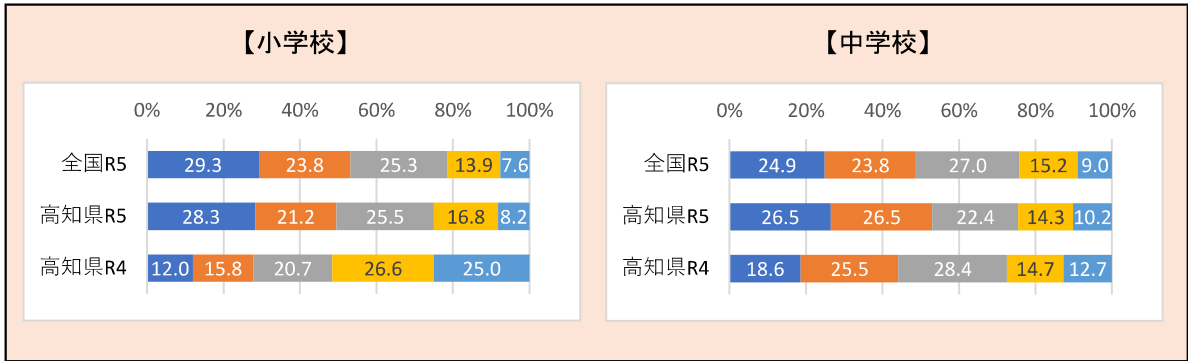


# ICTを活用した学習状況

学校 質問紙	(58) (66)	教職員と調査対象学年の児童（生徒）がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
-----------	--------------	---

高知県（経年）

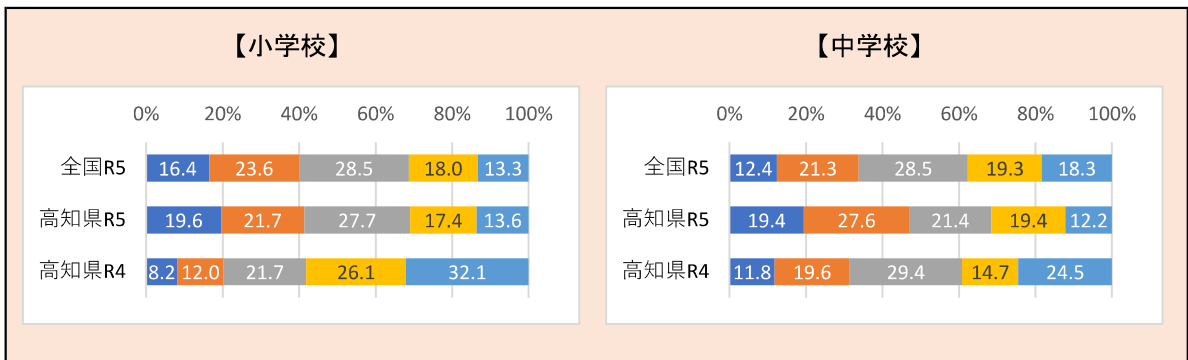
■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



学校 質問紙	(59) (67)	調査対象学年の児童（生徒）同士がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか
-----------	--------------	---

高知県（経年）

■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



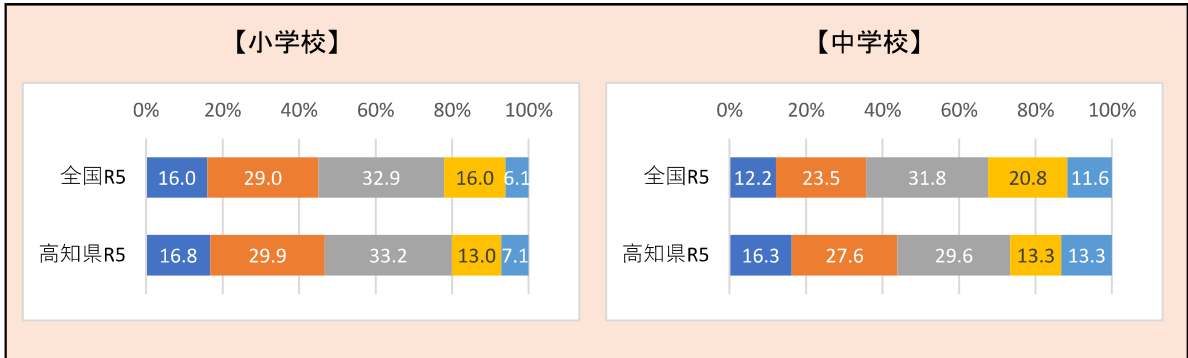


# ICTを活用した学習状況

学校 質問紙	(60) (68)	学調査対象学年の児童（生徒）が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか（新規）
-----------	--------------	--

高知県（経年）

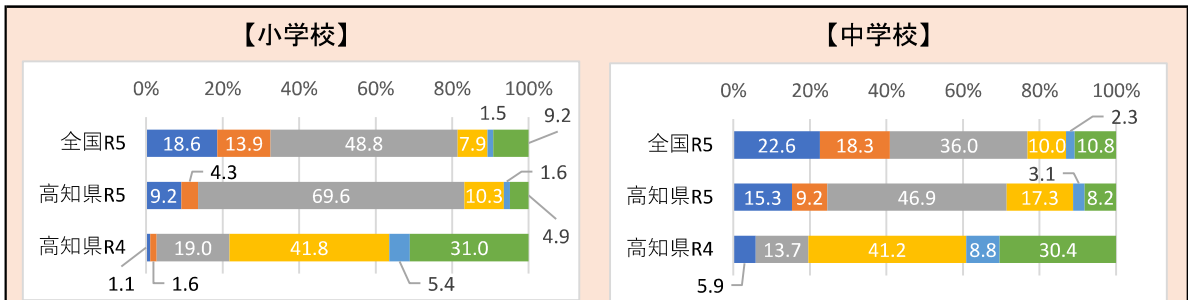
■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



学校 質問紙	(63) (71)	児童（生徒）一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか
-----------	--------------	--

高知県（経年）

■ 毎日持ち帰って、毎日利用させている ■ 毎日持ち帰って、時々利用させている ■ 時々持ち帰って、時々利用させている ■ 持ち帰らせていない ■ 持ち帰ってはいけないこととしている ■ 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている



児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を「毎日持ち帰って、毎日利用させている」と回答した学校の割合は、令和4年度と比較すると上昇したが、小学校9.2%、中学校15.3%とともに全国より低くなっている。



## 組織づくり

### ○学力向上のための学校経営力向上支援事業

学力調査等で明らかとなった学力課題を解決し、児童生徒の生きる力を育成するため、中長期的な視点に立った学校経営計画に基づく学力向上に向けたPDCAサイクルの確立を支援する。

### ○組織力向上推進事業

小学校教科担任制及び中学校における教科のタテ持ち等による授業改善への取組を一体的に捉え、小・中学校の円滑な接続を図ることにより、義務教育9年間を見通した指導体制を構築する。

## 授業づくり

### ○学力向上検証サイクル確立事業

学力調査等の結果から明らかになった学力についての課題の改善状況及び定着状況等を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善を図る。

### ○「高知の授業の未来を創る」推進プロジェクト

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善やカリキュラム・マネジメントの充実、ICTを効果的に活用した授業の推進を図る。

### ○英語教育強化プロジェクト

言語活動を中心とした4技能（聞く・話す・読む・書く）統合型の授業への転換と、ICTを活用し、授業と家庭学習のサイクル化による基礎基本の徹底により、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

### ○言語能力・情報活用能力育成プラン

学校図書館を活用した授業を推進することで、学習の基盤となる言語能力と情報活用能力の向上を図る。

### ○理科教育推進プロジェクト

児童生徒の理科の知識・技能の習得を図り、思考力・判断力・表現力及び主体的に学習に取り組む態度を育成するために、理科の中核教員を養成・育成し活用することで、授業の改善・充実を図る。また、生徒の科学への興味・関心等を高めるために、科学の甲子園ジュニア高知県大会を開催する。

### ○ICT活用力向上事業

小学校における1人1台タブレット端末の活用をより充実させるため、情報教育推進リーダーによる実践発表や協働学習支援ツールの活用研修を通して、授業におけるICTの活用力の向上を図る。

## 地域連携

### ○道徳教育協働推進プラン

「考え、議論する道徳」の授業の充実と、地域ぐるみの道徳教育の推進により、児童生徒の道徳性の向上を図る。

### ○キャリア教育強化プラン

小・中・高等学校を通じたキャリア教育を推進するとともに、各地域の特色を生かしたキャリア教育を支援し、児童生徒のキャリア発達を促す。

### ○中山間地域における特色ある学校づくり推進事業

特色ある学校づくりを目指す市町村教育委員会を支援し、学校と地域の連携・協働による教育活動を充実させることで、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。

### ○コミュニティ・スクール推進事業

市町村教育委員会に対し、学校運営協議会の設置に係る支援を行うことで、地域とともにある学校づくりを推進する。

### ○放課後等における学習支援事業

小・中学校における放課後等学習支援員の配置の支援を行うことで、放課後等の補充学習を充実させ、基礎学力の定着や家庭学習習慣の確立を図る。